



『就職活動に対する大学生保護者の意識』 に関する調査

結果報告書

平成26年9月30日

一般財団法人 雇用開発センター

I. 調査概要	1
II. 回答者本人(親)と子供の属性	3
III. 調査結果のまとめ	8
IV. 調査結果の詳細	
1. 現在の就職環境に対する印象と子供の就職に対する関心	
1) 現在の就職環境に対する印象	11
2) 子供の就職活動に対する関心度	12
3) 子供が高校生時の就職についての意識	13
4) 子供の大学選択時の意識	14
2. 就職活動に伴う子供からの相談とそれに対するアドバイス	
1) 就職活動について、子供からの相談の有無	15
2) 就職活動について、子供からの相談内容	16
3) 就職活動中の子供に対するアドバイス	17
4) 子供の就職活動における人脈の活用	18
5) 就職活動に対する子供との対立の有無	19
3. 子供の就職活動と親の情報収集	
1) 子供の就職活動に関する情報の入手先	20
2) 就職活動前、就職活動中に知りたい情報	21
3) 子供に参加して欲しい就職活動	22
4) 親が参加したい就職活動	23
4. 子供の就職先への期待と勧めたい業界	
1) 就職先への期待	24
2) 就職先として勧めたい業界	25
3) 就職先として勧めたくない業界	28
5. 就職活動が不調に終わった場合と就職先の労働条件が悪かった場合の対応	
1) 就職活動が不調に終わった場合、親として子供に期待する進路	30
2) 就職先の労働条件が悪かった場合、親としての対応(推奨内容)	31
6. 就職活動への資金援助	
1) 就職活動に対する資金援助の有無	32
2) 就職活動資金援助の内容	33
3) 合計資金援助額	34
7. 「子育てのゴール」はいつか	35
参考: 調査票	36

1. 調査の背景と目的

- 「少子化社会、格差社会、産業構造変化社会、将来不安社会・・・等々」といわれる今日、親の子供に対する心配は、ともすれば「過保護」と呼ばれるまでに転じてしまう事象が多々見受けられます。
- 昨今の子供の就職活動においても同様に、保護者（親）の干渉が目立ち、ときには「過干渉では・・・」との社会的な批判を浴びるケースも少なくありません。
- その結果、学生に就職指導する学校側にとっても、何らかの保護者対策を講じざるを得ない必要性に迫られています。
- このような背景の中で、保護者向け「就職ガイダンス」の実施や保護者向け「就職ガイドブック」を発行する学校が増えています。
- 今回の調査は、改めて、子供の就職活動に対する親の関わりの実態を「親の意識（気持ち、想い、願い）と行動」から把握することを目的に実施しました。
- 調査結果から得られた知見は雇用開発センターのWEBサイトに掲載する予定です。

2. 調査実施時期

- 2014年9月4日～9月8日

3. 調査対象者

- 全国の四年制大学に在籍する大学1年生～4年生及び卒業後3年以内の社会人の親（父親、母親）
- イプソス株式会社 J-panelより抽出

4. 有効回収数(人)

	父親	母親	計
四年制大学1～2年生の親	142	144	286
四年制大学3～4年生の親	224	220	444
卒業後3年以内の社会人の親	155	151	306
計	521	515	1036

5. 調査方法

- オンライン調査

6. 調査実施機関

- イプソス株式会社

分析軸名	カテゴリー名	報告書上の表記名	n 数
性別	男性	父親	521
	女性	母親	515
子供の性別	男性	息子	584
	女性	娘	452
回答者性別と子供の性別	父親×男子	父親×息子	302
	父親×女子	父親×娘	219
	母親×男子	母親×息子	282
	母親×女子	母親×娘	233
子供の学年	四年制大学の1年生	大学1年生	140
	四年制大学の2年生	大学2年生	146
	四年制大学の3年生	大学3年生	240
	四年制大学の4年生	大学4年生	204
	四年制大学を卒業して3年以内の社会人	社会人	306
子供の学校種別	私立文系		461
	国公立文系		110
	私立理系	同左	204
	国公立理系		135
	私立文理融合系		89
	国公立文理融合系		37
同居の有無	同居している	同居	759
	同居していない	非同居	277
年収	300万円未満		46
	300～500万円未満		127
	500～700万円未満	同左	199
	700～1000万円未満		345
	1000～1500万円未満		189
	1500万円以上		41

Ⅱ. 回答者本人(親)と子供の属性

- 回答者(親)の基本属性を下図に示した。
- 今回調査の有効回答者(保護者)の性別構成は父親50.3%、母親49.7%であった。
- 今回の対象属性である「現役大学生および卒業3年以内の社会人」の親の年代構成は下図の通りで、平均年齢は父親53.3歳、母親50.7歳。
- 世帯年収回答者(総回答者数の91%)の世帯年収中央値は788万円。
- 親の最終学歴にみる四年制大学(含む大学院)卒率は、父親64%、母親30%である。

図. 性別(n=1036/%)

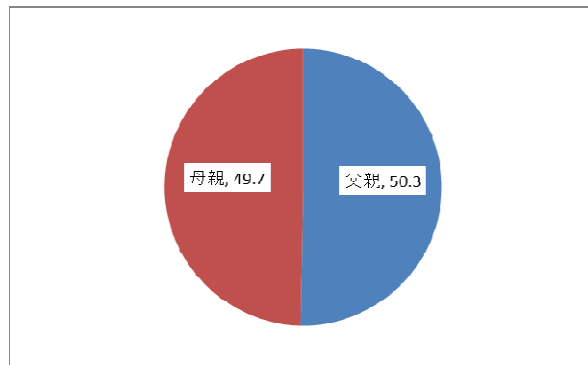


図. 年齢(n=1036/%)

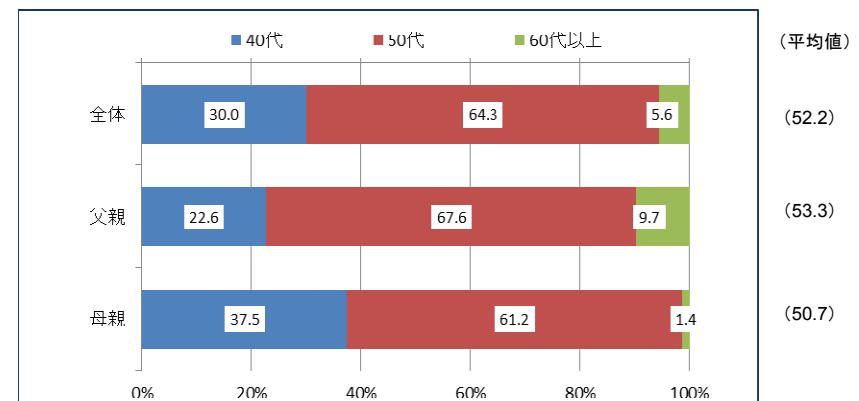


図. 世帯年収(n=1036/%)

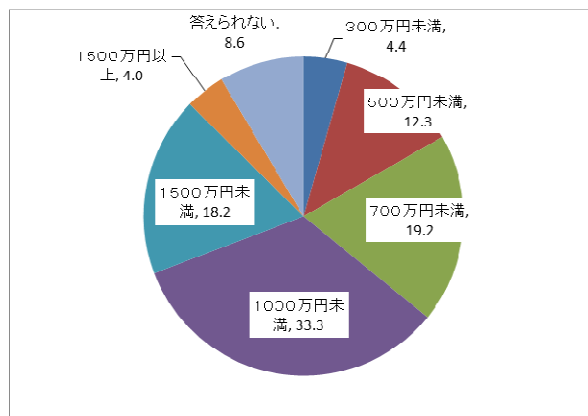
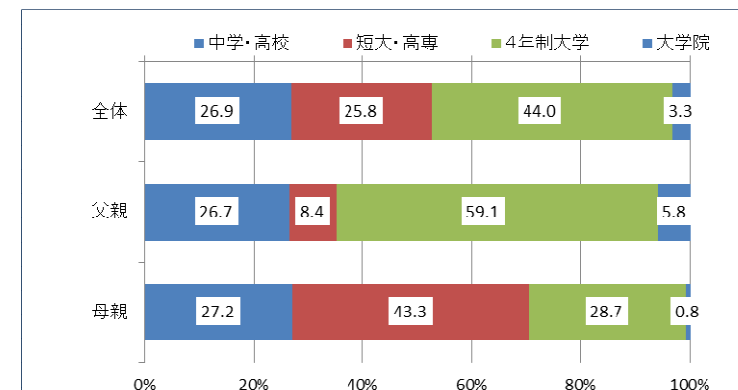


図. 最終学歴(n=1036/%)



➤ 回答者(親)の職業・勤め先の業種を下表に示した。

表. 職業(n=1036／％)

	一般会 社員(正 社員)	会社役 員・経営 者	公務員・ 教職員・ 団体職 員	自営業・ 自由業	派遣・契 約社員	パート・ アルバイト	その他	専業主 婦・専業 主夫・無 職
全体	35.7	4.9	8.7	6.9	3.4	23.4	1.4	15.6
父親	62.8	8.6	13.4	10.0	2.1	1.2	0.8	1.2
母親	8.3	1.2	3.9	3.9	4.7	45.8	1.9	30.3

表. 勤め先の業種(n=874／％)

	農林漁 業	建設業	製造業	電力／ ガス／ 水道	放送／ 出版／ 情報通 信業	運輸業	流通／ 小売業	金融／ 保険業	不動産 業	飲食／ 宿泊業	医療／ 福祉	学校／ 教育／ 学習支 援	専門 サービス 業	生活関 連サー ビス業	娯楽業	その他 サービス 業	官公庁 ／地方 自治体	その他
全体	0.5	6.5	17.8	2.2	2.6	3.9	8.0	7.0	1.6	1.8	11.0	8.0	3.4	3.1	0	9.7	7.6	5.3
父親	0.8	9.3	26.2	3.1	3.7	5.6	5.4	7.2	1.9	1.7	3.7	4.1	3.3	2.3	0	8.5	8.5	4.5
母親	0	2.5	5.8	0.8	1.1	1.4	11.7	6.7	1.1	1.9	21.4	13.6	3.6	4.2	0	11.4	6.1	6.4

- 回答者(親)の同居家族構成・同居家族人数・居住地を下表に示した。

表. 同居家族構成(n=1036／％)

	配偶者 (夫・妻)・ パート ナー	配偶者 以外の 社会人 (子供含 む)	大学・短 大・専門 学校・大 学院等 に就学 中の子 供	高校・高 専等に 就学中 の子供	未就学 ～中学 生まで の子供	自分の 両親	その他
全体	95.3	34.8	60.1	27.0	10.6	6.2	4.3
父親	97.5	34.9	59.3	29.9	10.2	8.4	3.3
母親	93.0	34.8	61.0	24.1	11.1	3.9	5.4

表. 同居人数(n=1036／％)

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	平均(人)
全体	0.6	12.1	27.0	42.1	14.3	3.1	0.8	0.1	3.70
父親	0.8	11.1	23.8	43.8	17.1	2.7	0.8	0.0	3.76
母親	0.4	13.0	30.3	40.4	11.5	3.5	0.8	0.2	3.64

表. 居住地(n=1036／％)

	首都圏	東海圏	近畿圏	その他
全体	40.0	11.5	17.4	31.2
父親	41.6	12.3	18.6	27.5
母親	38.3	10.7	16.1	34.9

- 現役大学生の学年と社会人の構成を下図(学年)に示した。今回の調査目的に照らし、就職活動が迫っている3年生と就職活動中の割合が高い4年生を母集団構成より多く回収している。
- 学校所在地は、首都圏が約半数を占め、3大都市圏計で77%に及ぶ。
- 学校種別構成は国公立大学(文系+理系+文理融合系)27%、私立大学(国立同様)73%。
- 一方、専攻構成は文系55%、理系33%、文理融合系12%。
- 尚、親との同居率は73%であった。

図. 性別(n=1036/%)

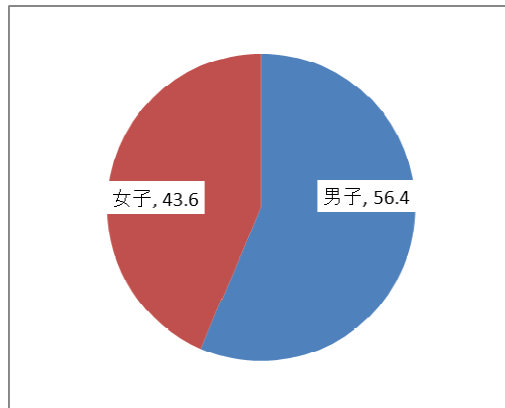


図. 学年(n=1036/%)

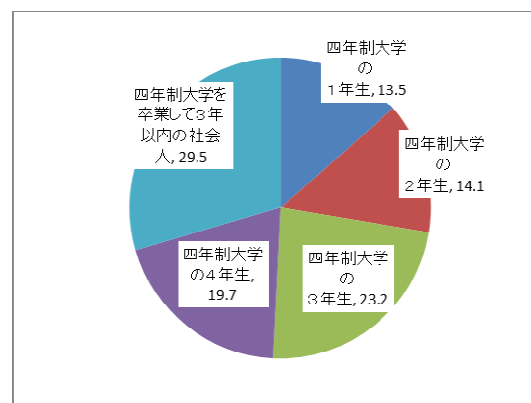


表. 親の居住地別、学校所在地(n=1036/%)

		学校所在地			
		首都圏	東海圏	近畿圏	その他
親の居住地	全体	47.7	8.7	20.8	22.8
	首都圏	95.7	0.3	1.1	2.9
	東海圏	14.3	71.4	11.0	3.3
	近畿圏	3.2	0.6	92.2	4.0
	その他	23.3	1.0	10.3	65.4

図. 学校種別・専攻(n=1036/%)

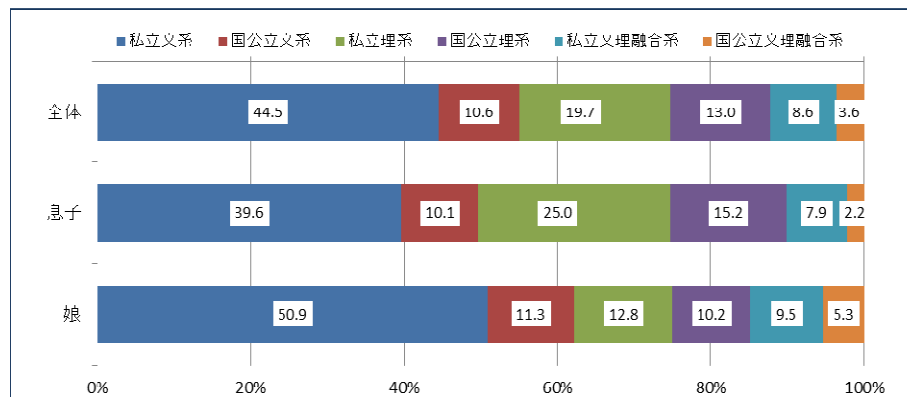
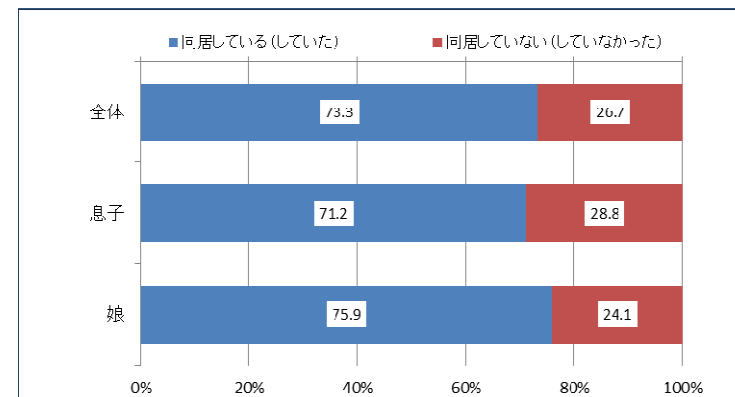
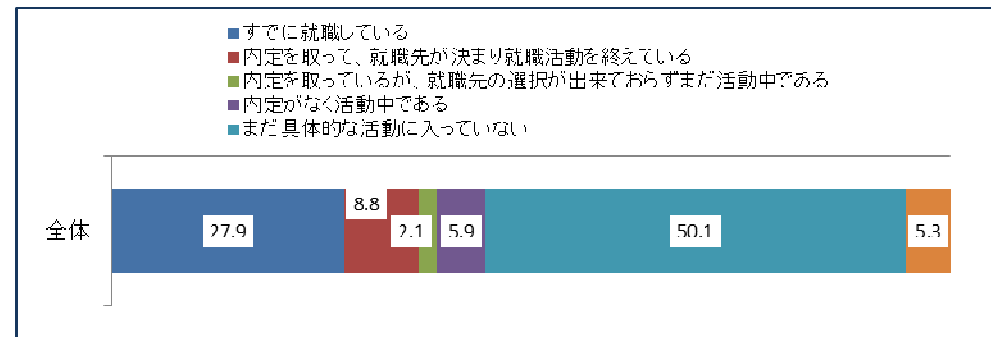


図. 親との同居有無(n=1036/%)



- 調査時点(平成26年9月)での就職活動状況を下図に示した。
- 4年生の内定率は51.9%と半数を超えているが、内定者の約2割は内定しているものの就職先を選択中である。
- 3年生以下ではほとんどの学生がまだ就職活動をしていない。

図. 就職活動状況(n=1036/%)



	1 すでに就職している	2 内定を取って、就職先が決まり就職活動を終えている	3 内定を取っているが、就職先の選択が出来ておらずまだ活動中である	4 内定がなく活動中である	5 まだ具体的な活動に入っていない	6,7,8計 その他
息子	28.6	8.6	2.2	5.8	49.1	5.6
娘	27.0	9.1	2.0	6.0	51.3	4.7
大学1年生	-	-	-	-	98.6	1.4
大学2年生	-	-	-	1.4	95.9	2.8
大学3年生	-	-	0.8	2.5	89.6	7.1
大学4年生	1.0	42.6	9.3	24.5	11.8	10.8
社会人	93.8	1.3	0.3	1.0	0.7	2.9

Ⅲ. 調査結果のまとめ

1. 現在の就職環境に対する印象

経済/産業構造の変化と企業経営を取り巻く環境の変化の中で、大学生の就職環境は「就職活動のあり方」、「就職格差問題」、「雇用環境」、「採用規模」、「採用形態」等、様々な点から、その厳しさがマスコミなどを通して発信されている。現在の子供の就職環境に対し、「厳しいと思っている(非常に厳しい+やや厳しい)」との印象を持っている親は43%で、「良い」印象を持っている親(17%)を大きく上回っている。

2. 子供の就職活動との関わり

【子供の就職活動への関心度】

子供の就職活動への関心度(非常に関心がある+やや関心がある)は86%と極めて高い関心が示されている。その中でも母親の関心度は父親をやや上回った。

【子供の大学選択時の希望】

子供が大学を選択する時点で、「卒業後の進路に有利な学校・学部を選択してほしかった」50%、「卒業後の進路に関係なく興味のある勉強ができる学校・学部を選択してほしかった」50%と、親の希望は「進路重視派」と「子供のやりたいこと重視派」の二派に大きく分かれた。

【子供からの相談と子供へのアドバイス】

子供からの就職活動関する相談率は父親41%、母親51%で、母親の方が相談しやすいようである。中でも娘から母親への相談が特に多く61%に上っている。一方で、息子から父親への相談は37%であった。

全体として、主な相談内容は「就職活動先の選択」(74%)で、就職活動中の4年生になると「就職活動の進め方」と「内定後の就職先企業の決定」についての相談も多くなる。尚、「就職活動の進め方について」は、3年生から高くなる傾向がみられた。

さらに、就職活動中の子供にアドバイス(助言)を「積極的にする」親は全体で26%であった。「アドバイスではないが、励ましの言葉をかける」といった激励型が47%と最も多い。

【人脈の活用】

子供の就職に際し、自分の個人的な人脈を活用している親は22%である。母親の活用率は25%で父親を上回っている。母親・父親ともに「知人から企業情報・業界情報を聞く」人脈活用法が最も多かった。

一方で、一般に日本はコネ社会などと言われているが、子供の就職に際し「人脈を活用しない」は親は78%であった。

3. 子供の就職活動と親の情報収集

【子供の就職活動に関する情報の入手先】

子供の就職活動に関する情報収集率は79%に上り、とりわけ母親の情報収集率は高い傾向がみられた。

情報入手先は「子供から直接聞く」、「インターネットで調べる」、「知人・友人・親から聞く」、「TV・新聞等に載っている情報を注視する」などが上位に挙げられた。

【親が知りたいと思っている情報】

親が就職活動について事前あるいは活動期間中に知りたいと思っている情報は、就職活動の「全体の流れ」>「対象企業の情報」>「大学側の就職支援状況」>「親ができること・した方がよいこと」などである。就職活動経験社会人の親が最も具体的に知りたかったのは「就職活動対象企業の企業情報」であった。

【子供に参加してほしい就職活動】

子供に参加してほしい就職活動は、「企業説明会(複数企業集合型)」61%、「企業説明会(単独企業型)」59%、「大学就職課の就職セミナー」57%が上位3活動である。現在、企業側が注力し、学生側からも注目されている「企業インターシップ」は56%で、重要な就職活動の一つとして挙げられている。

【親が参加したい就職活動】

父親の就職活動参加希望率28%に対し、母親の就職活動参加希望率は38%と父親を大きく上回っている。

参加希望者が最も多く挙げた活動は「大学就職課の保護者向け就職説明会」であった。

一方で、「参加したい活動は特になし」が全体で67%と、2/3の親は参加希望を示していない。

4. 子供の就職活動への資金援助

【資金援助と使い道】

子供への就職活動資金援助の実情をみると、「一部援助している親」がやや多く、「全て援助している親」「援助していない親」の2タイプが拮抗している。なお、世帯年収が高くなるほど費用の全てを援助する親の比率が高くなる傾向にあった。

援助資金の使い道では「就職活動用のスーツ・靴等の被服費」(いわゆるリクルートルック経費)が89%群を抜いて高く、次いで「交通費」76%、「宿泊費」56%と続き、これらが就職活動の3大経費となっている。

【合計資金援助額】

資金援助している親723人(総数1036人の70%)の援助額の平均値は約13.6万円である。学年が上がるごとに援助額も上がり、就職活動経験社会人の資金援助額実績は約16.8万円であった。

5. 子供の就職先への期待と勧めたい業界

【就職先への期待】

親が子供の就職先に期待する第一は、「希望する仕事ができること」77%である。次いで「経営の安定」64%、「妥当な給与・年収」56%、「福利厚生制度の充実」40%、「景気・社会情勢に左右されにくい」40%の順で、子供の希望を重視するも、就職先企業に“安定”を求める親心がうかがえる。

【勧めたい業界】

就職先として勧めたい業界の全体上位5ランキングは次の通りである。

1位:官公庁/地方自治体	2位:医療/福祉	3位:学校/教育/学習支援	4位:製造業	5位:放送/出版/情報通信業と金融/保険業の2業界
--------------	----------	---------------	--------	---------------------------

官公庁/地方自治体は40%を超え、圧倒的な推奨業界であった。
また、勧める理由としては「安定性」43%を第一に挙げた。

【勧めたくない業界】

一方、就職先として勧めたくない業界の全体ワースト5ランキングは次の通り。

1位:娯楽業	2位:飲食業	3位:不動産業	4位:金融/保険業	5位:農林漁業
--------	--------	---------	-----------	---------

尚、「勧めたくない業界は『特になし』」親は43%と半数近く、就職先の業界について特にこだわらない親が多いことも実態である。

6. 就職できなかった場合と労働条件が悪かった場合の対応

【就職できなかった場合に期待する進路】

子供が就職できなかったとき、親が期待する進路は、「研究室・大学院等上の学習課程に進む」(上級進路派)と「大学は卒業して次年の就職活動に専念する」(既卒就職派)の2方向が主流である。

【就職先の労働条件が悪かった場合の対応】

「しばらく我慢することを勧める」46%と「労働環境の詳細を記録しておくよう勧める」44%が親の2大対応策である。父親は「我慢」を求め、母親は「専門家・専門機関」「知人に相談」に相談する傾向がみられた。

7. 子育てのゴールはいつか

一般に親の責任を果たしたとされる子育てのゴール時期は、入学(卒業)、就職、結婚など様々なライフステージを指すことが多いと見受けられる。今回の回答者の子育てのゴール時期で高かったのは、「就職時」36%、「結婚時」22%である。

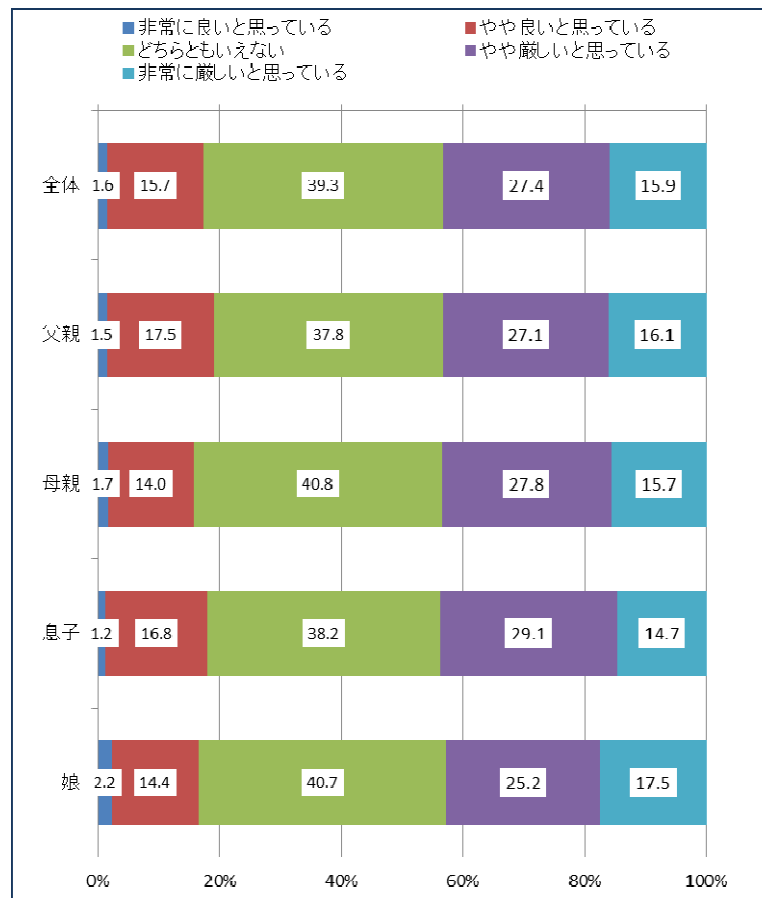
一方で、約25%の親は「子育てにゴールはない」と回答している。親の責任は永遠に続くと思っているようで、特に娘の親でその傾向が高かった。

IV. 調査結果の詳細

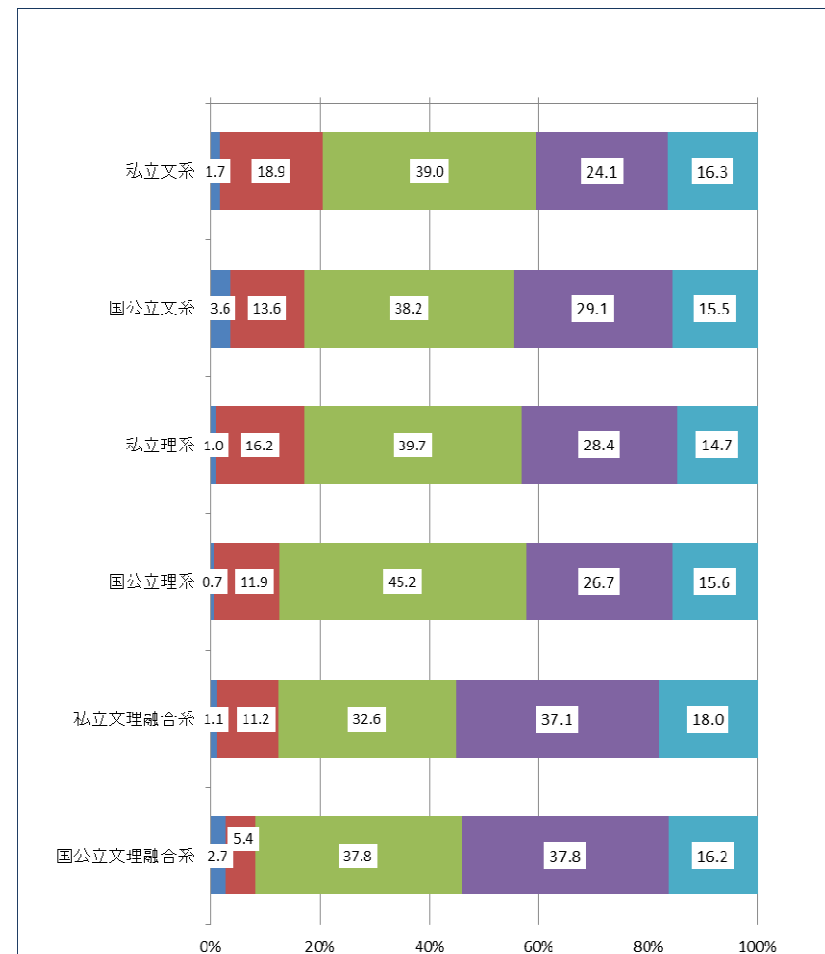
1) 現在の就職環境に対する印象

- 昨今、就職環境の厳しさが取りざたされている中で、大学生の親は現在の就職環境をどう認識しているかを聞いた。
- 全体で「厳しいと思っている（非常に厳しい＋やや厳しい）」が43.3%で、「良いと思っている（非常に良い＋やや良い）」17.4%を大きく上回っている。
- この認識は父親と母親との間に差はない。また息子を持つ親と娘を持つ親との間にも差はみられなかった。
- 子供の学校種別・専攻別にみると、国立・私立ともに文理融合系の親は他に比べ厳しい認識を示している。

図. 現在の就職環境に対する印象 (n=1036/%)



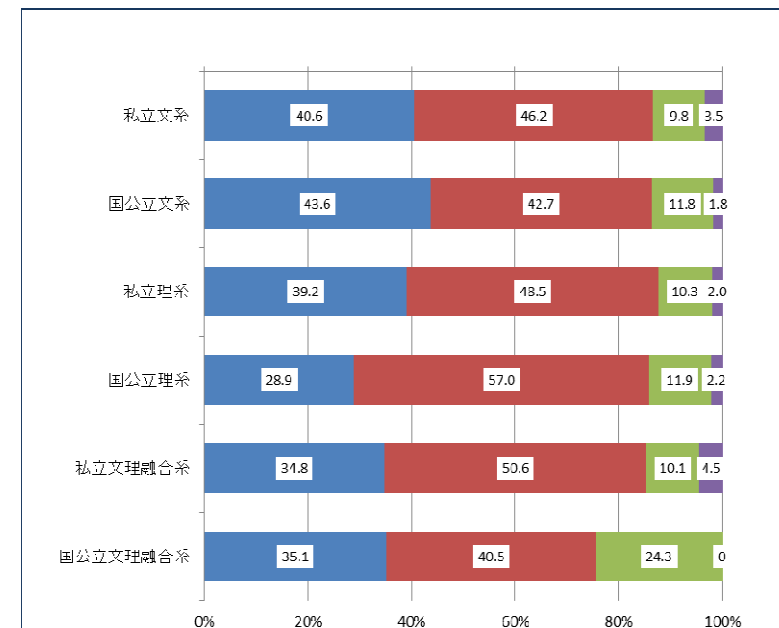
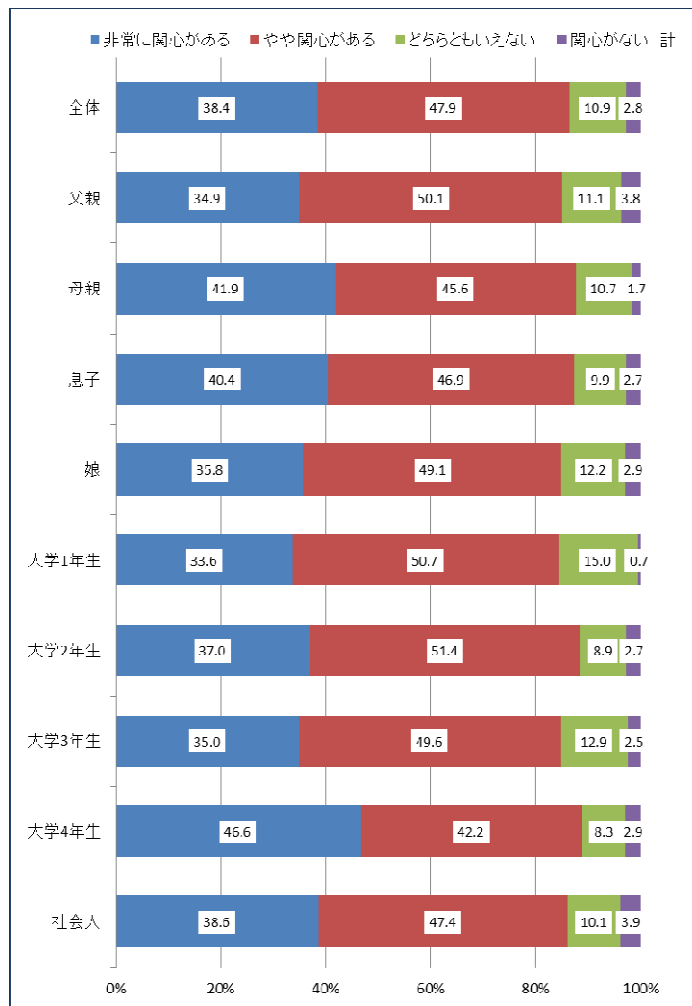
Q26 あなたが、マスコミなどから得ている情報から、今の就職環境に関して、どのような印象をお持ちですか。（1つだけ）



2) 子供の就職活動に対する関心度

- 子供の就職活動への関心度は全体で86.3%（非常に関心がある＋やや関心がある）と極めて高い関心が示されている。
- 父親85.0%、母親87.5%と、母親の関心度は父親の関心度を少しだけ上回っている。
- 4年生の親と、文系の親の「非常に関心がある」比率が高い。

図. 子供の就職活動に対する関心度 (n=1036/%)



Q17 あなたはお子様の就職活動に対してどの程度関心がありますか（ありましたか）（1つだけ）

3) 子供が高校生時の就職についての意識

- 子供が高校生ときの将来の就職についての親の意識は、「就職に有利な大学を選んでほしいと思った」26.3%、「まだ先のことだと思い、特に意識しなかった」25.2%、「取りあえず良い大学に行って、卒業後の選択肢を広げてほしいと思った」24.1%と、将来の就職を意識していた親が約半数を占めた。
- この割合は父親と母親との間に大きな差は見られない。また、息子に対する希望と娘に対する希望にも大差はなかった。

図. 子供が高校生時の就職についての意識(n=1036/%)

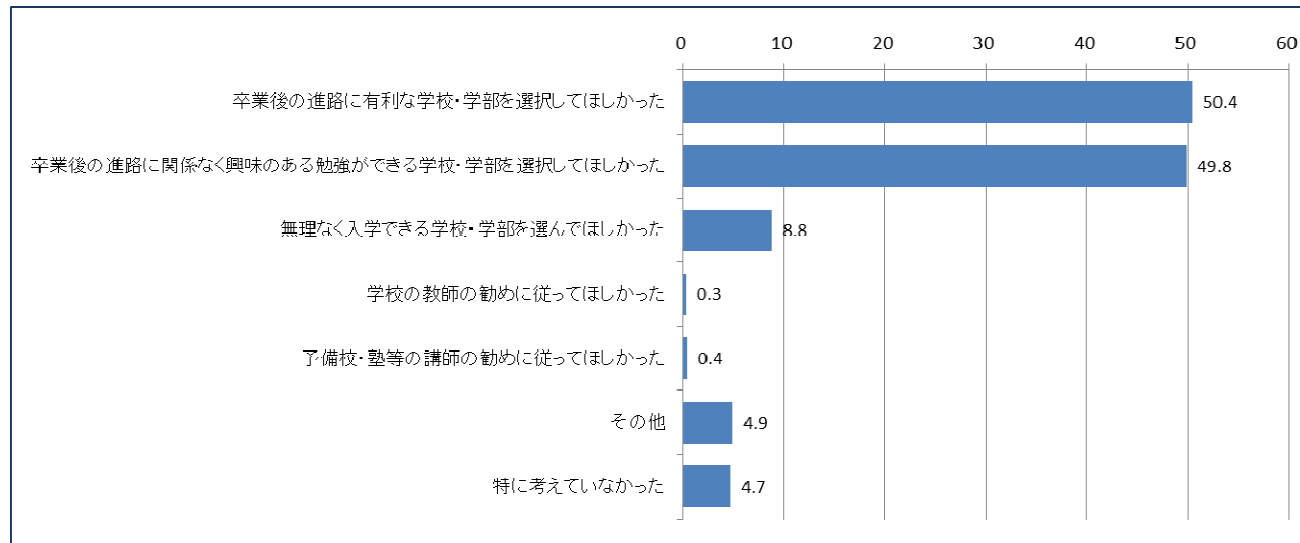


Q16 お子様が高校生の時、お子様の就職についてどのようにお考えでしたか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。(1つだけ)

4) 子供の大学選択時の意識

- 子供が大学を選択する時点での親の希望は、「卒業後の進路に有利な学校・学部を選択してほしかった」50.4%、「卒業後の進路に関係なく興味のある勉強ができる学校・学部を選択してほしかった」49.8%と「進路重視派」と「子供のやりたいこと重視派」の二派が拮抗している。

図. 大学選択時の意識 (n=1036 / %)



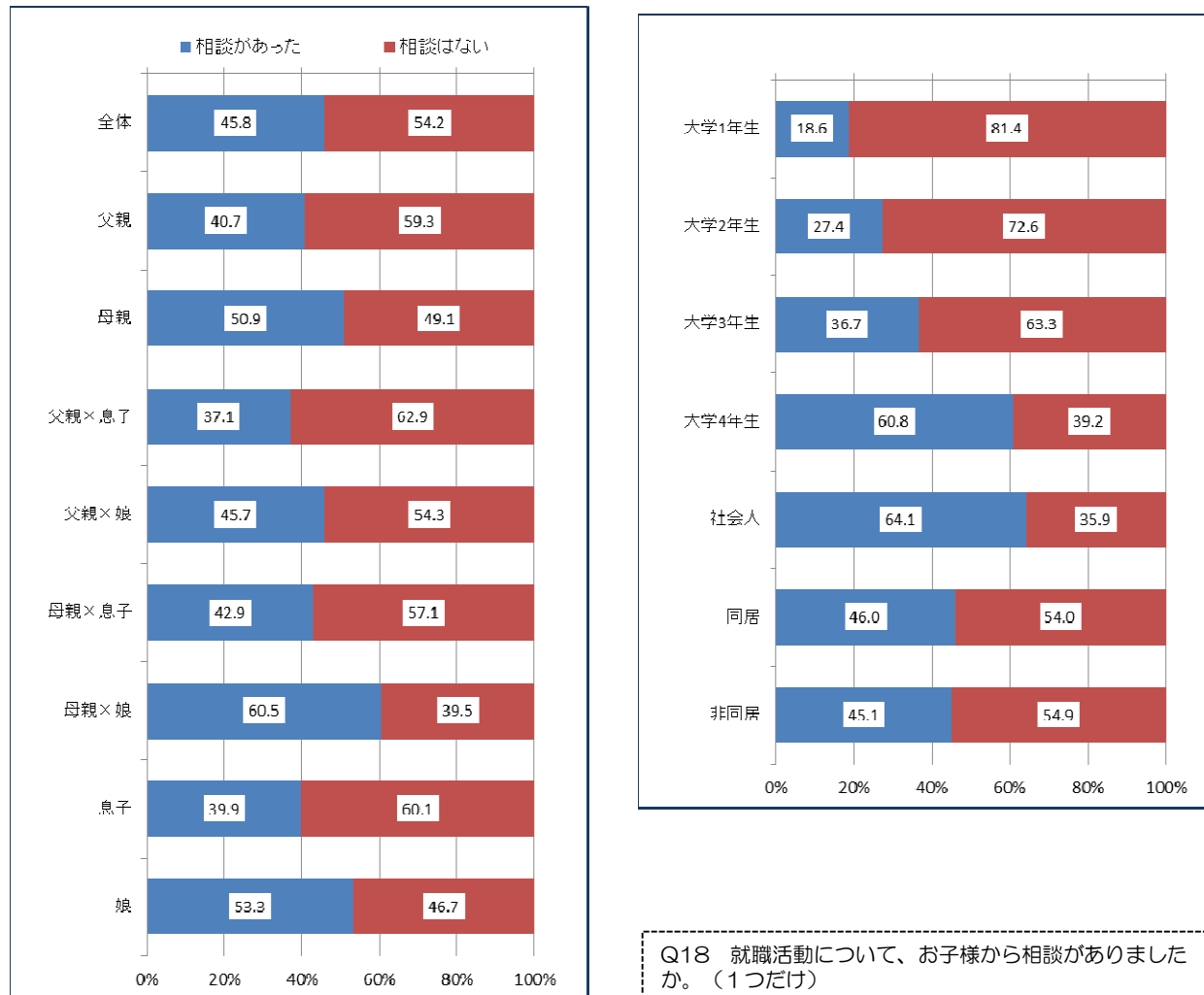
父親	母親	息子	娘
49.5	51.3	51.2	49.3
49.5	50.1	50.2	49.3
7.9	9.7	9.4	8.0
0.4	0.2	0.3	0.2
0.4	0.4	0.5	0.2
4.0	5.8	5.1	4.6
6.5	2.9	4.8	4.6

Q15 お子様を大学を選ぶ際、どんな大学に入学してほしいとお考えでしたか。(いくつでも)。

1) 就職活動について、子供からの相談の有無

- 子供から相談があったのは全体で45.8%。父親40.7%、母親50.9%と母親の方が相談しやすいようだ。
- 中でも娘から母親への相談が特に多く60.5%に上っており、一方、息子から父親への相談は37.1%に止まった。
- 4年生と就職活動経験社会人の相談率は共に60%を超えている。
- 同居の有無と相談比率には相関がみられず、同居しているからといってコミュニケーションが豊かとは言えないようだ。

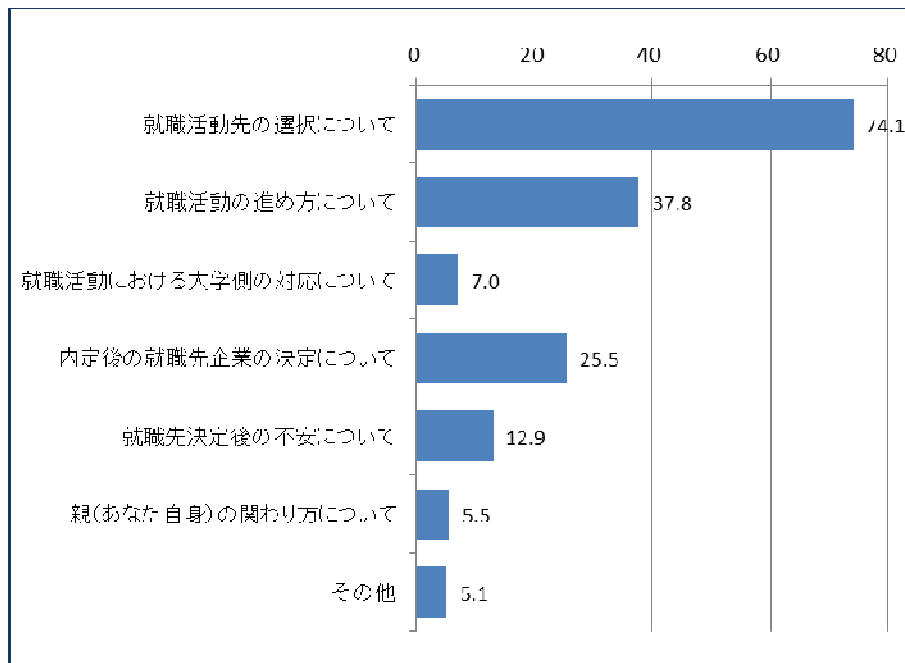
図. 就職活動の相談の有無 (n=1036/%)



2) 就職活動について、子供からの相談内容

- 相談の内容は「就職活動先の選択」74.1%が群を抜いて高く相談の中心になっている。次いで「就職活動の進め方」37.8%、「内定後の就職先企業の決定」25.5%の順である。
- 「就職活動先の選択」は、学年が上がると率が下がる傾向がみられる。
- 就職活動中の4年生は「就職活動の進め方」と「内定後の就職先企業の決定」についての相談が高い。
- なお、「就職活動の進め方について」の相談が3年生になると急増する。

図. 相談の内容(n=474/%)



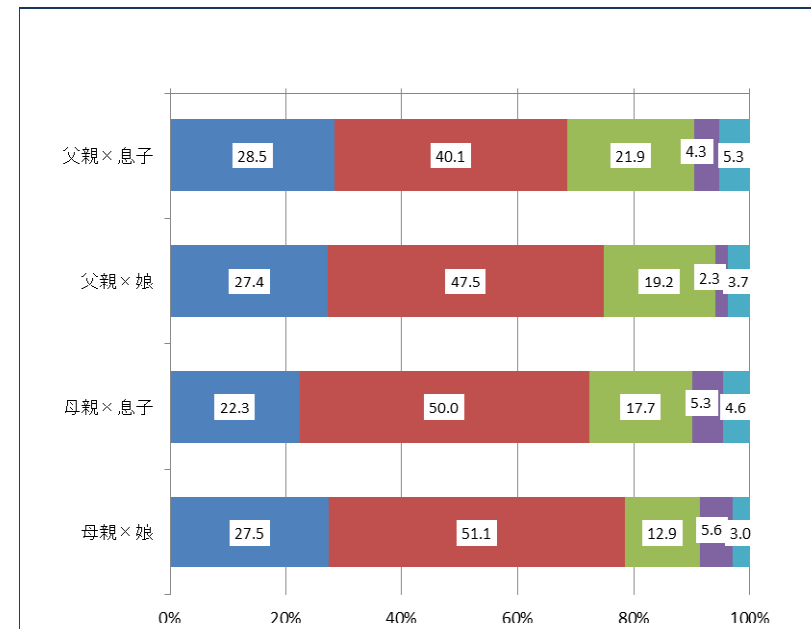
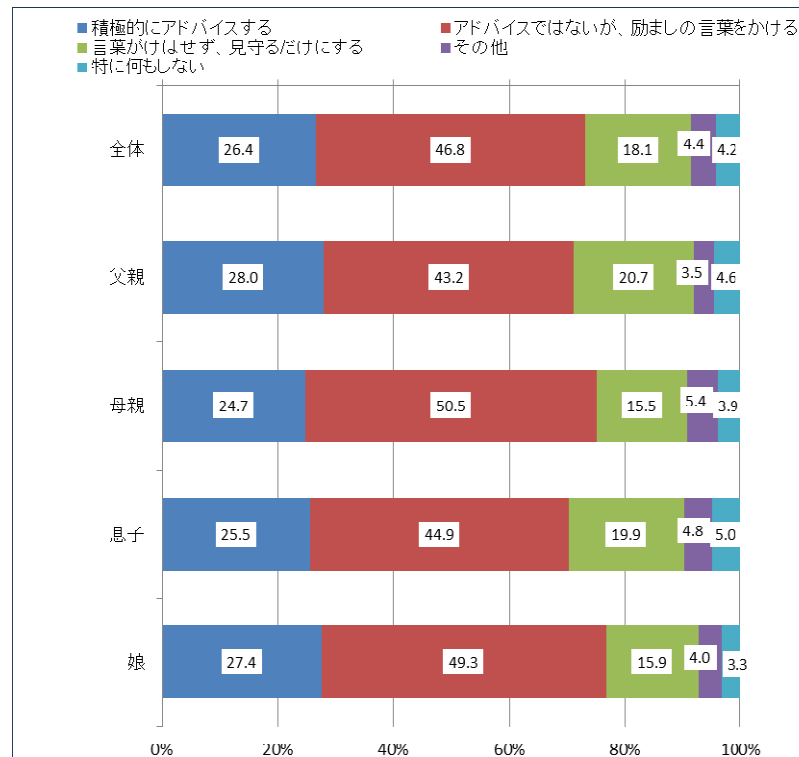
大学 1年生	大学 2年生	大学 3年生	大学 4年生
92.3	82.5	81.8	71.8
19.2	27.5	40.9	45.2
3.8	10.0	6.8	4.0
7.7	10.0	3.4	34.7
7.7	12.5	6.8	12.9
0	15.0	1.1	8.9
0	0	5.7	4.8

Q19 就職活動についてお子様からどのような内容の相談がありましたか。(いくつでも)

3) 就職活動中の子供に対するアドバイス

- 就職活動中の子供にアドバイス(助言)を「積極的にする」親は全体で26.4%である。
- 「アドバイスではないが、励ましの言葉をかける」といった激励型が46.8%と最も多く、「言葉がけはせず、見守るだけにする」と静観する親は18.1%であった。
- 父親は「積極的にアドバイスする」で母親を上回り、母親は「アドバイスではないが、励ましの言葉をかける」で父親を上回っている。
- しかしながら、父親から娘への「激励型」比率は息子へのそれより高いことが目を引く。

図. 子供へのアドバイス(n=1036/%)

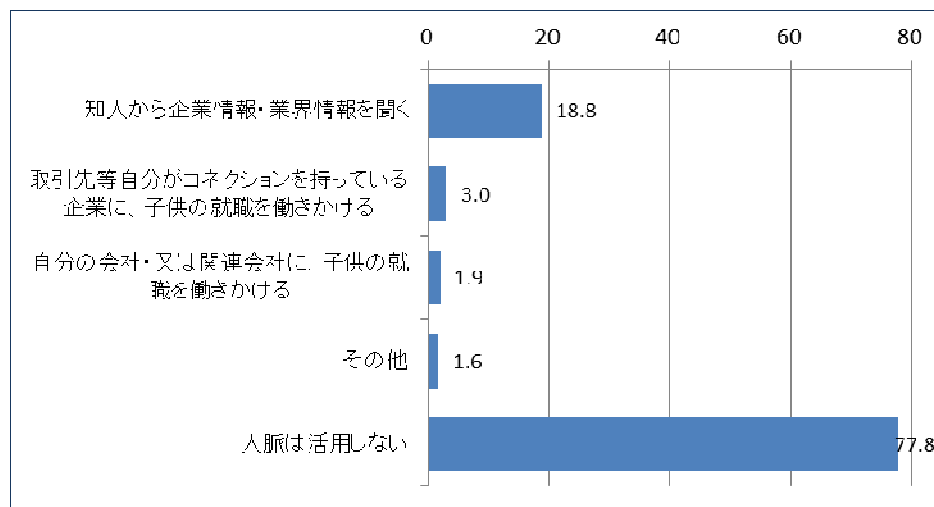


Q20 あなたは就職活動中のお子様に、何かアドバイスをしますか(しましたか)。(1つだけ)

4) 子供の就職活動における人脈の活用

- 子供の就職に際し、親は自身の個人的な人脈を活用しているのかを聞いた。
- 何らかの人脈活用率(何かしら活用している率)は全体で22.2%であった。
- 母親の活用率は24.7%と僅かだが父親19.8%を上回っている。両親ともに活用している内容は「知人から企業情報・業界情報を聞く」が高い。
- 一方で、「人脈を活用しない」人は全体で77.8%と多数を占めた。

図. 人脈の活用(n=1036/%)



Q21 あなたはお子様の就職活動にあたって、自分の個人的な人脈を活用しますか（しましたか）。（いくつでも）。

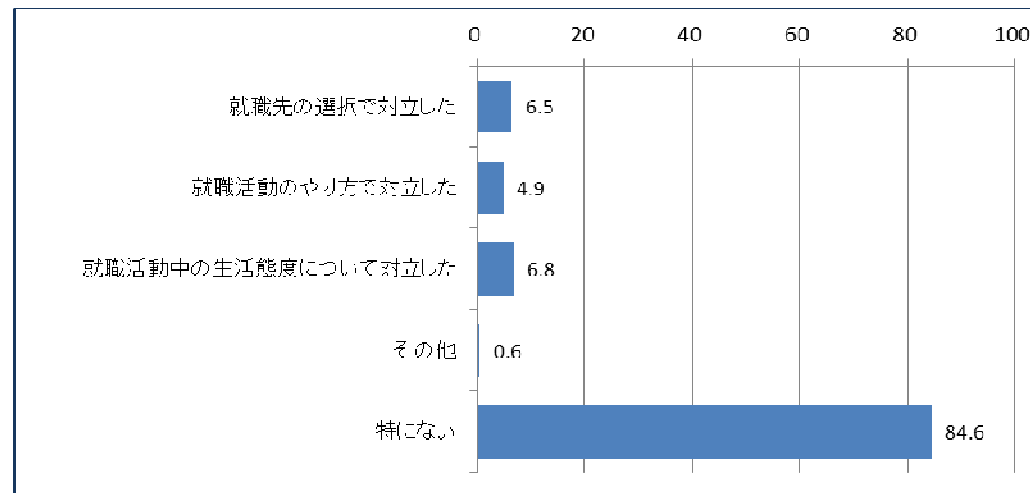
父親	母親	父親× 息子	父親× 娘	母親× 息子	母親× 娘	息子	娘
15.9	21.7	14.9	17.4	22.0	21.5	18.3	19.5
2.9	3.1	3.3	2.3	2.5	3.9	2.9	3.1
2.3	1.6	1.7	3.2	1.8	1.3	1.7	2.2
1.7	1.6	1.3	2.3	0.7	2.6	1.0	2.4
80.2	75.3	81.8	78.1	76.6	73.8	79.3	75.9

注：人脈活用率＝100%－「人脈は活用しない」率

5) 就職活動に対する子供との対立有無

- 就職活動について子供と対立があったかどうか確認したところ、84.6%が「特にない」と回答した。
- 対立内容については、どの項目も5～7%程度であった。
- また、1036人中対立した160人に対し、対立した際の「きっかけの言葉」を自由回答で聞いた。
- 160人中50人が「言葉は特にない」と回答した。一方で、対立した際のきっかけの言葉としては、「子供からの投げやりな言葉」、「親からの叱咤激励」等が挙げられた。

図. 子供との対立有無 (n=1036 / %)



Q.27 あなたは、就職について何かお子様と対立したことがありましたか。(いくつでも)

表. 対立した際のきっかけの言葉の例(自由回答)(n=160)

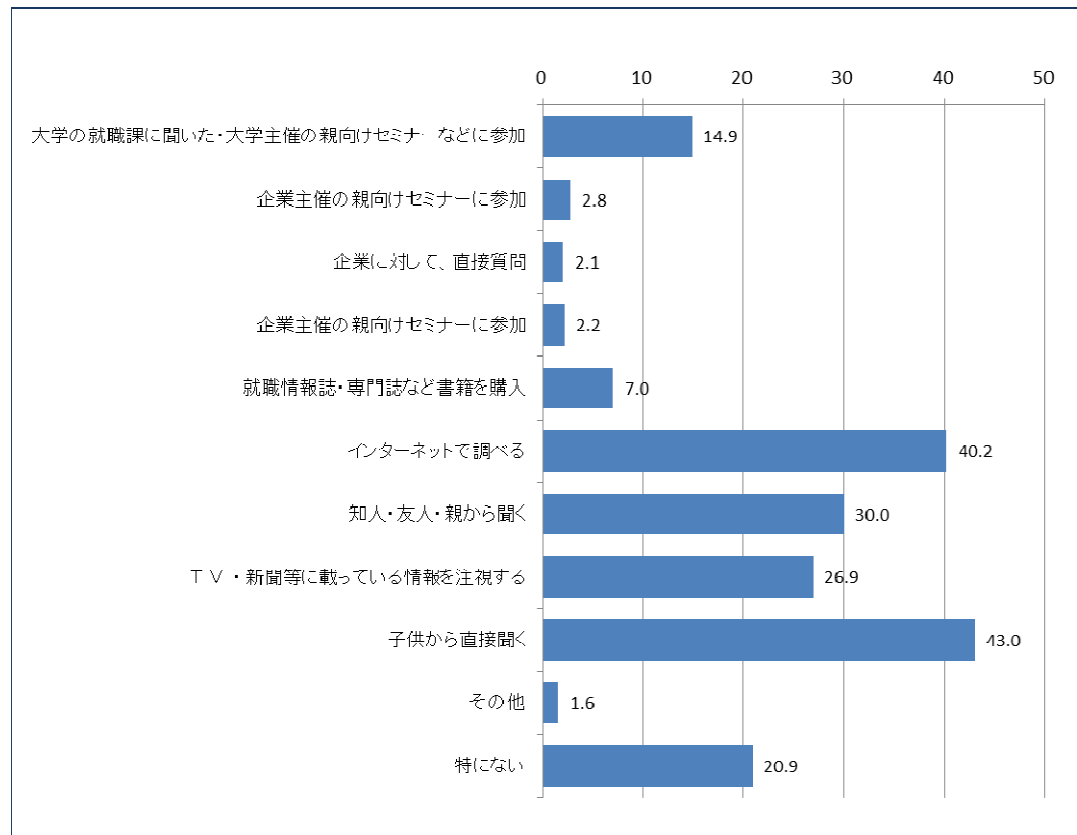
特にない(言葉では対立していない)	子供からの投げやりな言葉	親からの叱咤激励
50人	「じゃまくさい」 「どうしても就職したいわけじゃない」 「フリーターでいい」 「努力しているもん」 「自分で決めるから」	「がんばっているの？」 「しっかり考えているのか」 「だらだらしないで、ちゃんとしなさい」 「大学で何を学んだのか」

Q.28 あなたがお子様と対立した際、きっかけになった「言葉」で、思い当たるものがあれば教えてください。

1) 子供の就職活動に関する情報の入手先

- 子供の就職活動に関する情報収集実施率は全体で79.1%であった。
- 父親の実施率が75.4%、母親の実施率が82.7%と、母親の活発な情報収集活動の様子がうかがわれる。
- 情報入手先のトップは「子供から直接聞く」43.0%で、次いで「インターネットで調べる」、「知人・友人・親から聞く」、「TV・新聞等に掲載している情報を注視する」などが上位に挙げられている。
- 母親はこれら上位に挙げた入手先の全てで父親を上回っている。
- 一方で、特に情報収集をしない親は全体で20.9%出現した。(父親24.6%、母親17.3%)

図. 情報の入手先 (n=1036/%)



父親	母親	息子	娘
14.0	15.7	14.7	15.0
3.6	1.9	2.2	3.5
3.5	0.8	1.9	2.4
2.5	1.9	1.9	2.7
7.3	6.8	7.2	6.9
38.0	42.3	38.2	42.7
23.8	36.3	30.1	29.9
22.3	31.7	27.7	25.9
36.5	49.5	40.4	46.2
1.7	1.6	1.4	2.0
24.6	17.3	23.1	18.1

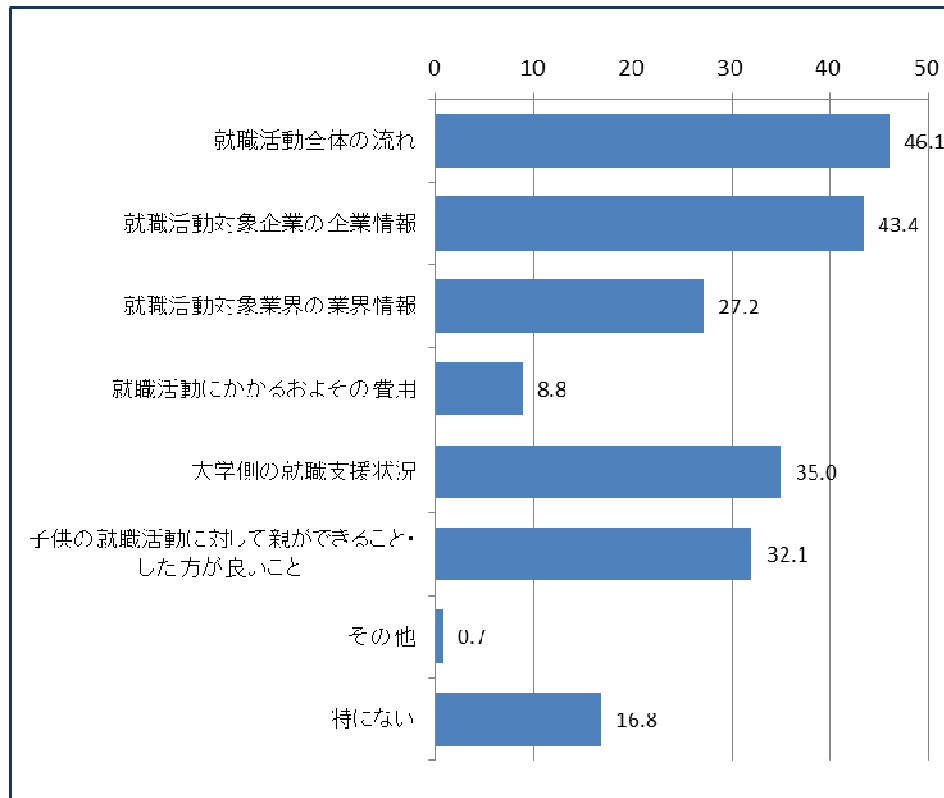
注: 情報収集実施率=100%−「特にない」率

Q22 あなた自身は何を通して就職活動に関する情報収集をしますか(しましたか)。(いくつでも)

2) 就職活動前、就職活動中に知りたい情報

- 子供の就職活動について親が具体的に知りたいと思っていること、逆に言えばよく分かっていないことを聞いた。
- 全体では、「就職活動の全体の流れ」46.1%、「対象企業の情報」43.4%、「大学側の就職支援状況」35.0%、「親ができること・した方が良いこと」32.1%などが上位に挙げた知りたい情報である。
- 就職活動経験社会人の親が最も具体的に知りたかったのは「就職活動対象企業の企業情報」41.2%であった。

図. 知りたい就職活動の内容(n=1036/%)



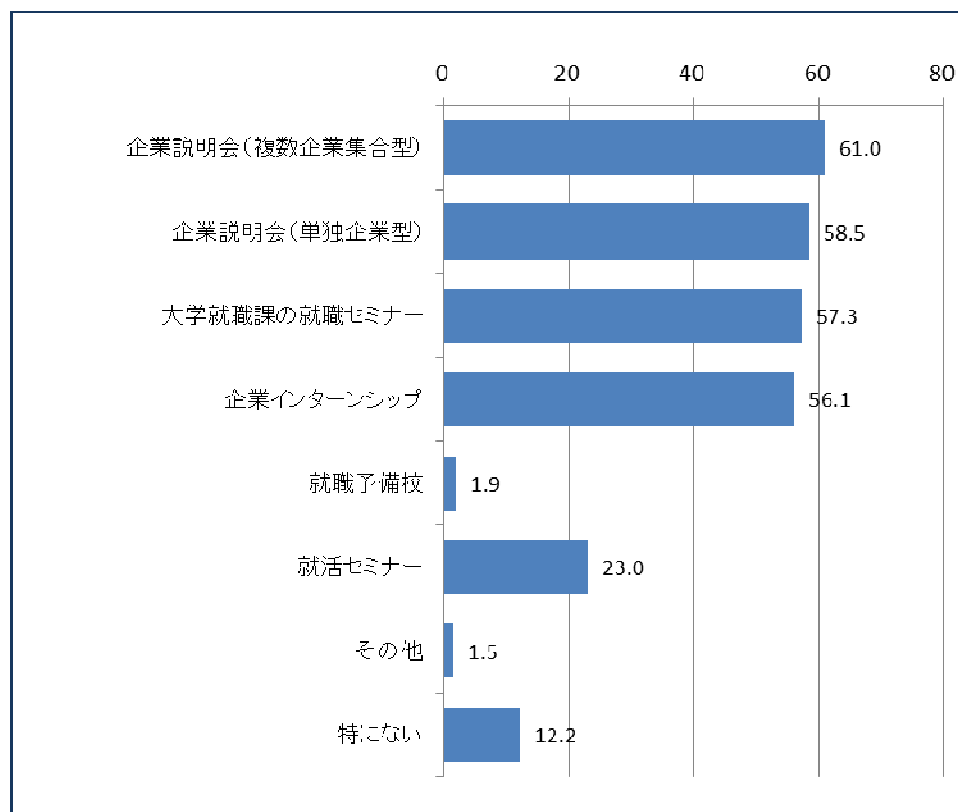
大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	社会人
59.3	46.6	47.1	45.6	39.5
48.6	46.6	40.4	44.6	41.2
30.0	30.1	30.0	24.5	24.2
12.9	10.3	10.8	6.9	5.9
47.9	41.1	38.3	30.9	26.5
35.0	36.3	36.3	28.9	27.8
0.0	0.0	0.4	1.5	1.0
11.4	12.3	15.4	19.6	20.6

Q23 お子様の就職活動について、活動前、活動中に具体的に知りたいと思う（思った）ことは何ですか。（いくつでも）

3) 子供に参加して欲しい就職活動

- 全体では、「企業説明会(複数企業集合型)」61.0%、「企業説明会(単独企業型)」58.5%、「大学就職課の就職セミナー」57.3%が上位3活動である。
- 近年話題になっている「企業インターシップ」も56.1%と高く、注目を浴びる就職活動になっている。
- 母親は父親に比べ、様々な就職活動に子供が参加することを望んでいる様子がうかがえる。
- 就職活動経験社会人の親が子供に参加して欲しかった就職活動のトップは「企業説明会(単独企業型)」57.5%であった。

図. 子供に参加して欲しい就職活動(n=1036/%)



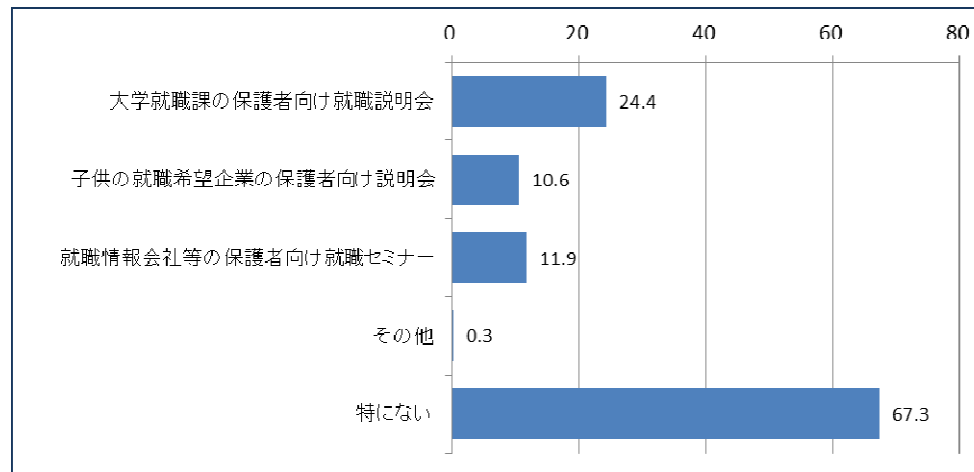
父親	母親	大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	社会人
56.2	65.8	75.7	63.7	62.1	60.3	52.6
54.5	62.5	65.7	58.2	55.4	58.8	57.5
51.6	63.1	70.7	57.5	65.4	57.4	44.8
51.2	61.0	65.0	55.5	63.8	51.0	49.7
2.5	1.4	2.1	1.4	1.7	2.9	1.6
18.6	27.4	30.0	21.9	24.6	28.9	15.0
1.3	1.7	0.7	1.4	0.8	2.9	1.6
15.2	9.1	6.4	9.6	10.8	10.8	18.0

Q.24 以下の中で、就職活動にあたって、お子様が参加した方が良い(良かった)と思われるものはありますか。(いくつでも)

4) 親が参加したい就職活動

- 子供の就職活動に当たり、親自身が参加したい就職活動は何かを聞いた。
- 「特にない」が全体で67.3%と2/3の親は特に参加希望を表明していない(「特にない」率)。
- 一方で、参加希望率は父親28.0%に対し、母親37.5%と父親を大きく上回っている。
- 参加希望者が最も多く挙げた活動は「大学就職課の保護者向け就職説明会」である。
- 学年別にみると、大学1年生の親の参加希望率は52.9%と半数を超え、「大学就職課の保護者向け就職説明会」「保護者向け就職セミナー」「就職希望企業の保護者向け説明会」等、いずれも上級学年の親を大きく上回る高い参加希望が注目される。

図. 親が参加したい就職活動(n=1036/%)



Q.25 以下の中で、お子様の就職活動にあたって、あなた自身が参加したい(したかった)と思われるものはありますか。(いくつでも)

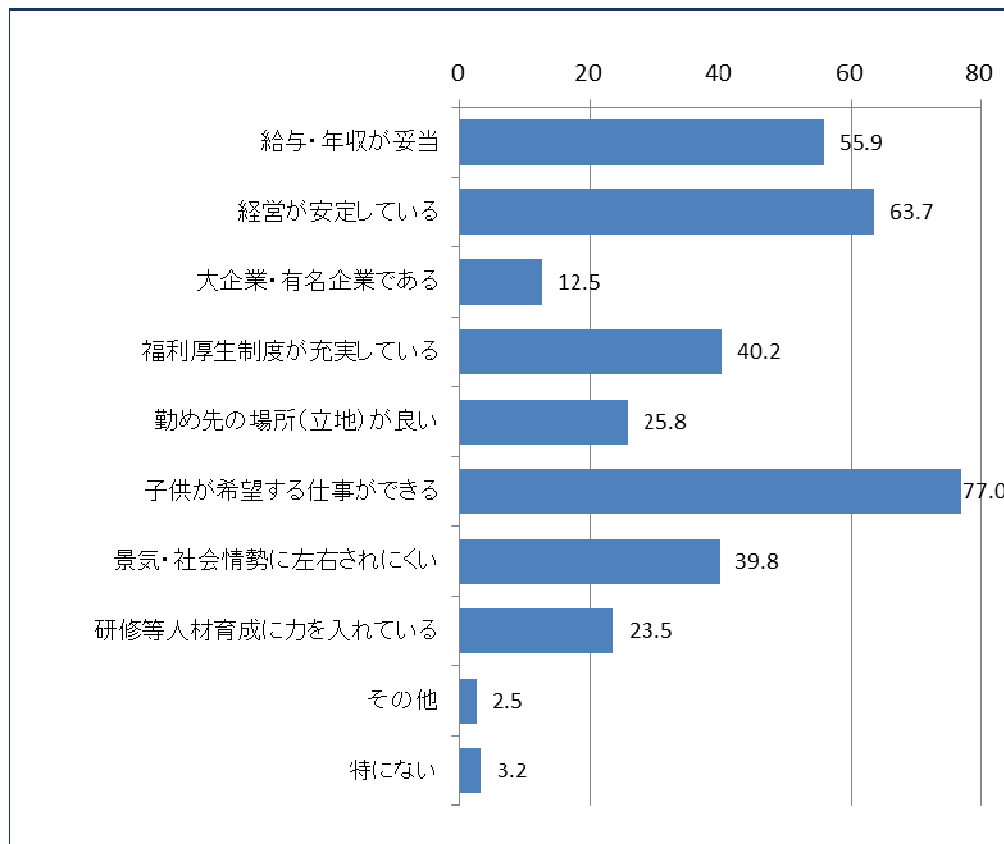
父親	母親	大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	社会人
18.8	30.1	42.1	26.7	29.6	21.6	13.1
9.6	11.7	20.0	11.6	12.5	8.8	5.6
10.9	12.8	20.7	11.0	12.9	9.8	8.8
0.4	0.2	—	—	—	1.0	0.3
72.0	62.5	47.1	63.7	64.6	69.1	79.1

注: 参加希望率=100%−「特にない」率

1) 就職先への期待

- 親が子供の就職先に求め・期待することの第一は、「子供の希望する仕事ができる」77.0%である。次いで「経営が安定している」63.7%、「給与・年収が妥当」55.9%、「福利厚生制度が充実している」40.2%、「景気・社会情勢に左右されにくい」39.8%の順で期待度が高い。
- 子供の希望を第一に重視するものの、就職先企業に“安定”を求める親心がうかがえる。
- 息子の親は「経営の安定」「妥当な給与・年収」を期待し、娘の親は「充実した福利厚生制度」により期待する傾向にある。

図. 就職先への期待 (n=1036/%)



父親	母親	息子	娘
52.8	59.0	58.2	52.9
61.6	65.8	67.0	59.5
12.3	12.8	13.9	10.8
36.7	43.7	37.0	44.2
24.6	27.0	21.2	31.6
76.4	77.7	76.2	78.1
39.7	39.8	41.4	37.6
18.8	28.2	21.9	25.4
1.5	3.5	2.4	2.7
3.5	2.9	2.4	4.2

Q.29 あなたがお子様の就職先に期待することに（期待したこと）は何ですか。（いくつでも）

2) 就職先として勧めたい業界①

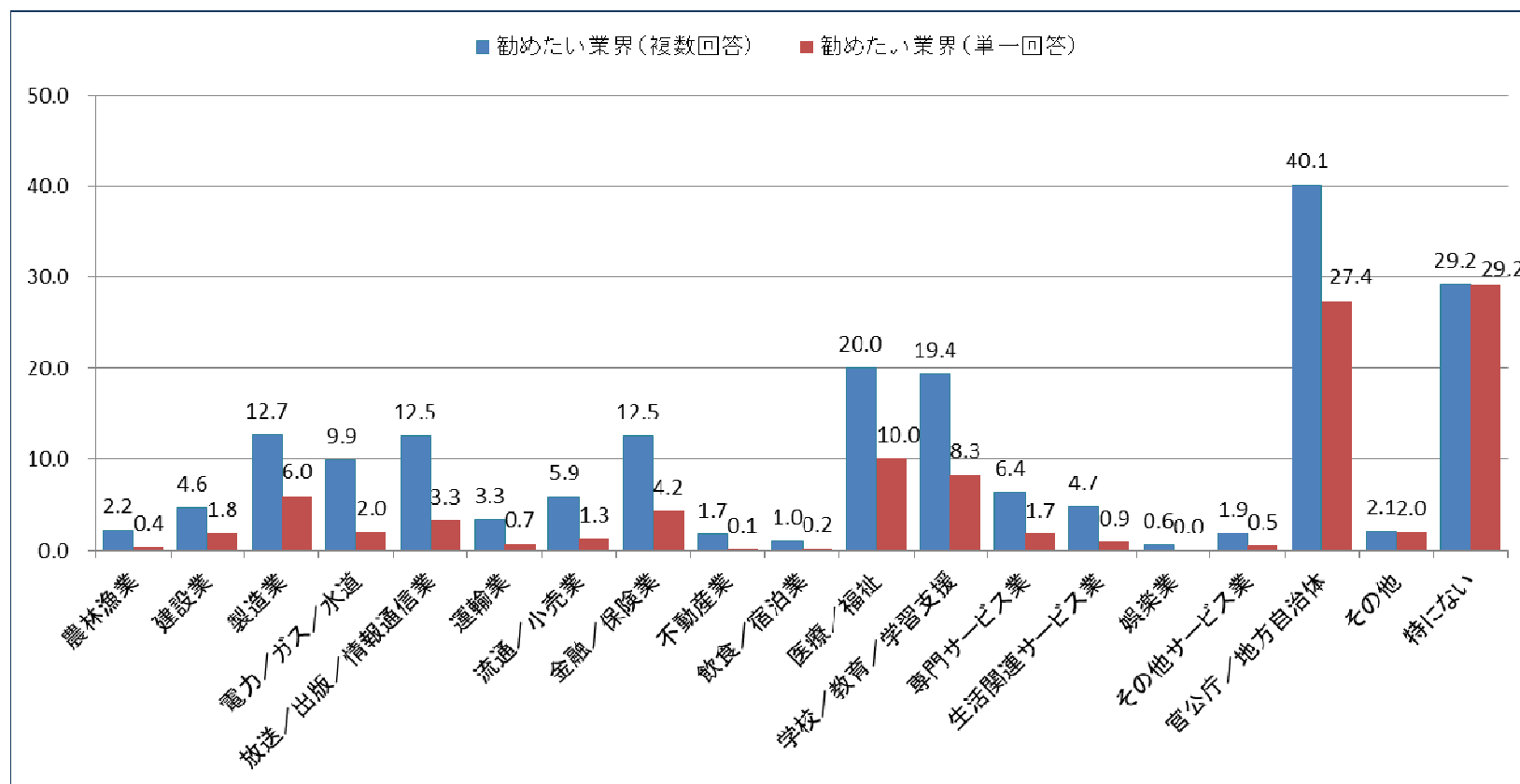
➤ 親が子供の就職先として勧めたい業界の全体上位5位は次の通り。(複数回答より)

1位:官公庁/地方自治体 2位:医療/福祉 3位:学校/教育/学習支援 4位:製造業 5位:放送/出版/情報通信業と金融/保険業の2業界

安定性が買われている官公庁/地方自治体は40%を超え、圧倒的な推奨業界である。単一回答でも同様の傾向である。

➤ 尚、勧めたい業界は「特になし」と答えた親は全体で29.2%であった。子供に就職先選択を任せていると推測される。

図. 勧めたい業界(n=1036/%)



Q30. あなたがお子様に、就職先として勧めたいと思う業界をお知らせください。(いくつでも)
Q30-1 その中で最も勧めたい業界はどこですか。(1つだけ)

※単一回答は、全体ベースで割り戻した数字を使用

2) 就職先として勧めたい業界②

➤ 息子の親が勧めたい業界と娘の親が勧めたい業界上位5位

① 息子の親： 1位: 官公庁/地方自治体 2位: 医療/福祉 3位: 製造業 4位: 学校/教育/学習支援 5位: 金融/保険業

② 娘の親： 1位: 官公庁/地方自治体 2位: 学校/教育/学習支援 3位: 医療/福祉 4位: 放送/出版/情報通信業 5位: 金融/保険業

表. 属性別、勧めたい業界(複数回答)(%)

	農林漁業	建設業	製造業	電力/ガス/水道	放送/出版/情報通信業	運輸業	流通/小売業	金融/保険業	不動産業	飲食/宿泊業	医療/福祉	学校/教育/学習支援	専門サービス業	生活関連サービス業	娯楽業	その他サービス業	官公庁/地方自治体	その他	特になし
父親	2.5	4.2	13.4	9.6	10.7	3.8	5.8	11.5	1.3	1.0	19.6	17.9	7.5	6.3	0.8	2.7	37.4	2.1	29.8
母親	1.9	5.0	12.0	10.3	14.2	2.7	6.0	13.6	2.1	1.0	20.4	21.0	5.2	3.1	0.4	1.2	42.7	2.1	28.5
息子	2.7	5.3	14.7	11.1	12.2	4.3	6.0	12.7	1.5	0.5	16.6	14.6	5.7	3.8	0.7	1.5	39.9	1.7	31.3
娘	1.5	3.8	10.2	8.4	12.8	2.0	5.8	12.4	2.0	1.5	24.3	25.7	7.3	6.0	0.4	2.4	40.3	2.7	26.3

2) 就職先として勧めたい業界③

- 子供に、前問の業界(単一回答)を勧める理由を自由回答で聞いた。
- 4割以上の親が、「安定性」と回答した。これは、「官公庁／地方自治体」を勧める業界として1位に挙げていることにもつながる。
- 次いで「本人(子供)の希望」を優先している親が16.9%、「子供の専門・資格が活かせる」と回答した人も16.1%に上った。

表. その業界を勧める理由(自由回答／複数回答)(n=734／%)

	n	%
安定、堅実、景気に左右されない	316	43.1
本人(子供)の希望	124	16.9
大学の専門・資格が活かせる	118	16.1
子供に向いている	48	6.5
やりがいのある仕事	41	5.6
待遇が良い(給料・福利厚生)	39	5.3
自分、家族と同じ業界	38	5.2
将来性がある、今後必要・期待できる	30	4.1
その他	6	0.8

Q30-2 その業界を勧める理由を簡単にお聞かせください。

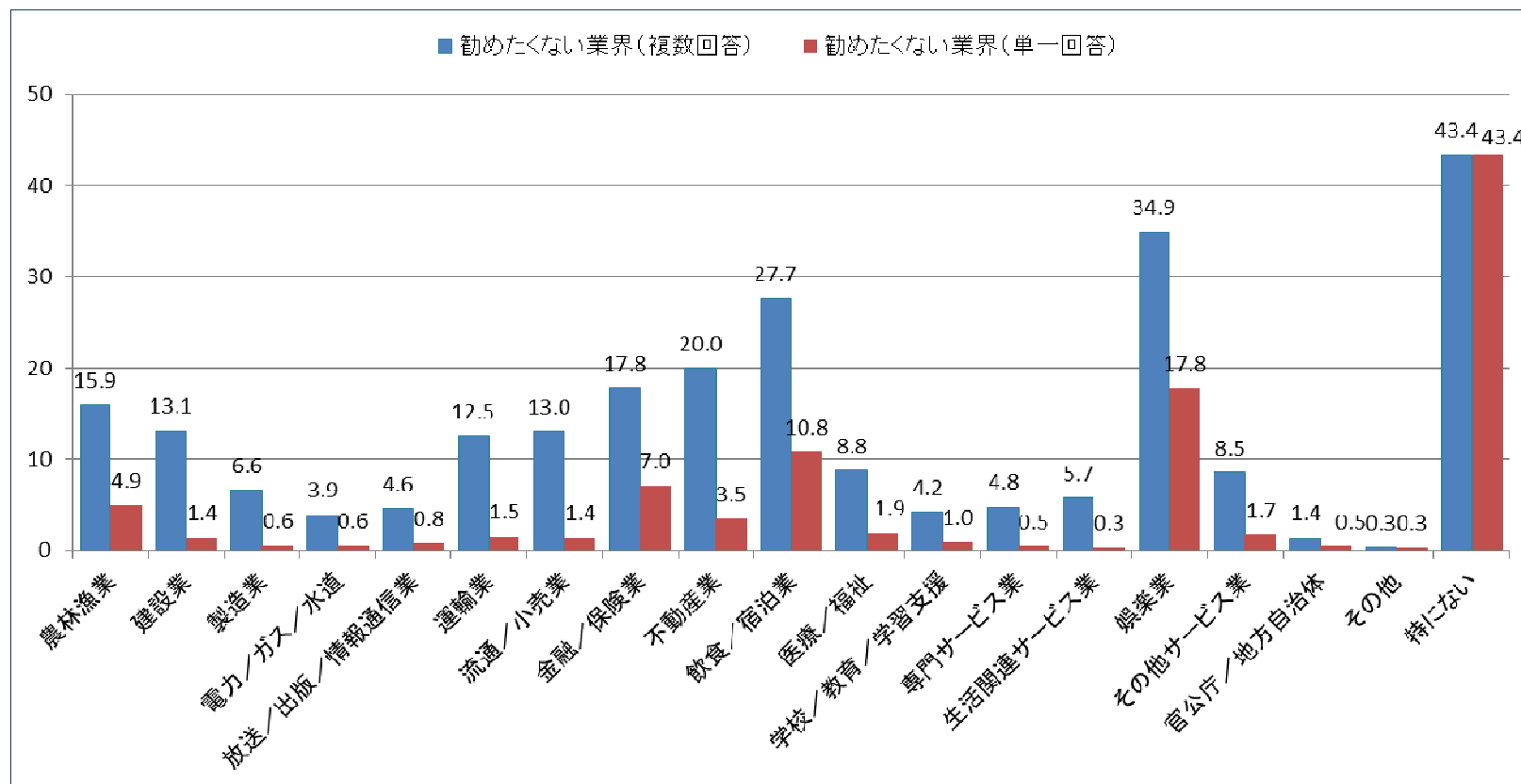
3) 就職先として勧めたくない業界①

➤ 親として子供の就職先として勧めたくない業界の全体ワースト5位は次の通り。(複数回答より)

1位: 娯楽業 2位: 飲食業 3位: 不動産業 4位: 金融/保険業 5位: 農林漁業

➤ 尚、「勧めたくない業界は『特にない』」は全体で43.4%と高く、子供の就職先の業界に特に拘らず子供の選択に任せる親が多いためと推測される。

図. 勧めたくない業界(n=1036/%)



Q31. あなたがお子様に、就職先として勧めたくないと思う業界をお知らせください。(いくつでも)
Q31-1 その中で最も勧めたくない業界はどこですか。(1つだけ)

※単一回答は、全体ベースで割り戻した数字を使用

3) 就職先として勧めたくない業界②

- 子供に、前問の業界(単一回答)を勧められない理由を自由回答で聞いた。
- 最も多かったのが「ブラック、3K」で31.2%であった。これは勧めたくない業界で「娯楽業」「飲食／宿泊業」が多かったことにもつながる。
- 次いで「イメージが悪い、嫌い」19.6%も同様である。
- それ以外にも、「不安定、景気・天候に左右される」19.6%や、「子供に向いていない」14.2%が上位に挙げられた。
(※天候に左右される業界は主に「農林漁業」)

表. その業界を勧められない理由(自由回答／複数回答)(n=586／%)

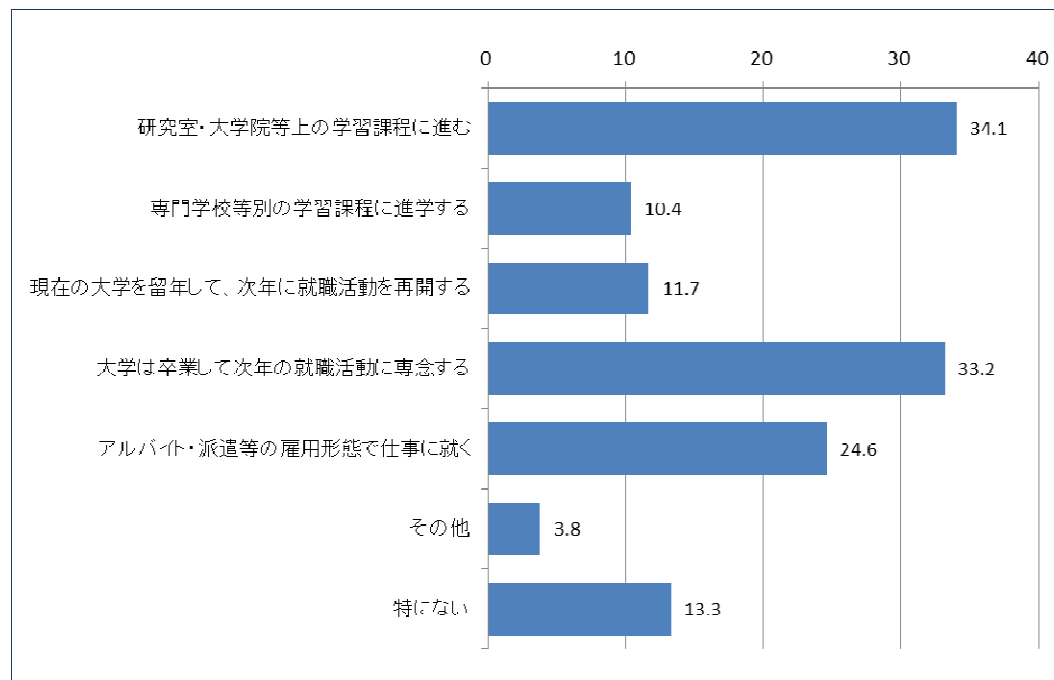
	n	%
ブラック、3K	183	31.2
イメージが悪い・わからない、嫌いな・わからない業界	122	20.8
不安定、景気・天候に左右される	115	19.6
子供に向いていない	83	14.2
勤務時間が不規則	77	13.1
待遇が悪い(給料・福利厚生)	42	7.2
将来性がない、今後必要性がない、期待できない	26	4.4
自分、家族と同じ業界	22	3.8
ノルマがある、きつい	22	3.8
その他	19	3.2

Q31-2 その業界を勧められない理由を簡単にお聞かせください。。

1) 就職活動が不調に終わった場合、親として子供に期待する進路

- 子供が就職できなかったとき、親が子供に期待する進路は、「研究室・大学院等上の学習課程に進む」34.1%と「大学は卒業して次年の就職活動に専念する」33.2%である。すなわち、「上級進路派」と「既卒就職派」の2方向が主流。
- 次いで、「アルバイト・派遣型」24.6%、「留年型」11.7%、「専門学校進学型」10.4%の順であった。
- 父親と母親とでこの期待進路の比率に差は見られない。
- 息子と娘に対する期待進路を比較すると、両者ともに「上級進路派」と「既卒就職派」が高いものの、娘には「アルバイト・派遣型」の期待も31.0%挙げられている。
- 学校種別・専攻別の中では、国公立理系の「上級進路派」が際立って高く、私立文理融合系の「アルバイト・派遣型」もやや高いことが目につく。

図. 就職先が決まらなかった場合の期待する進路 (n=1036/%)



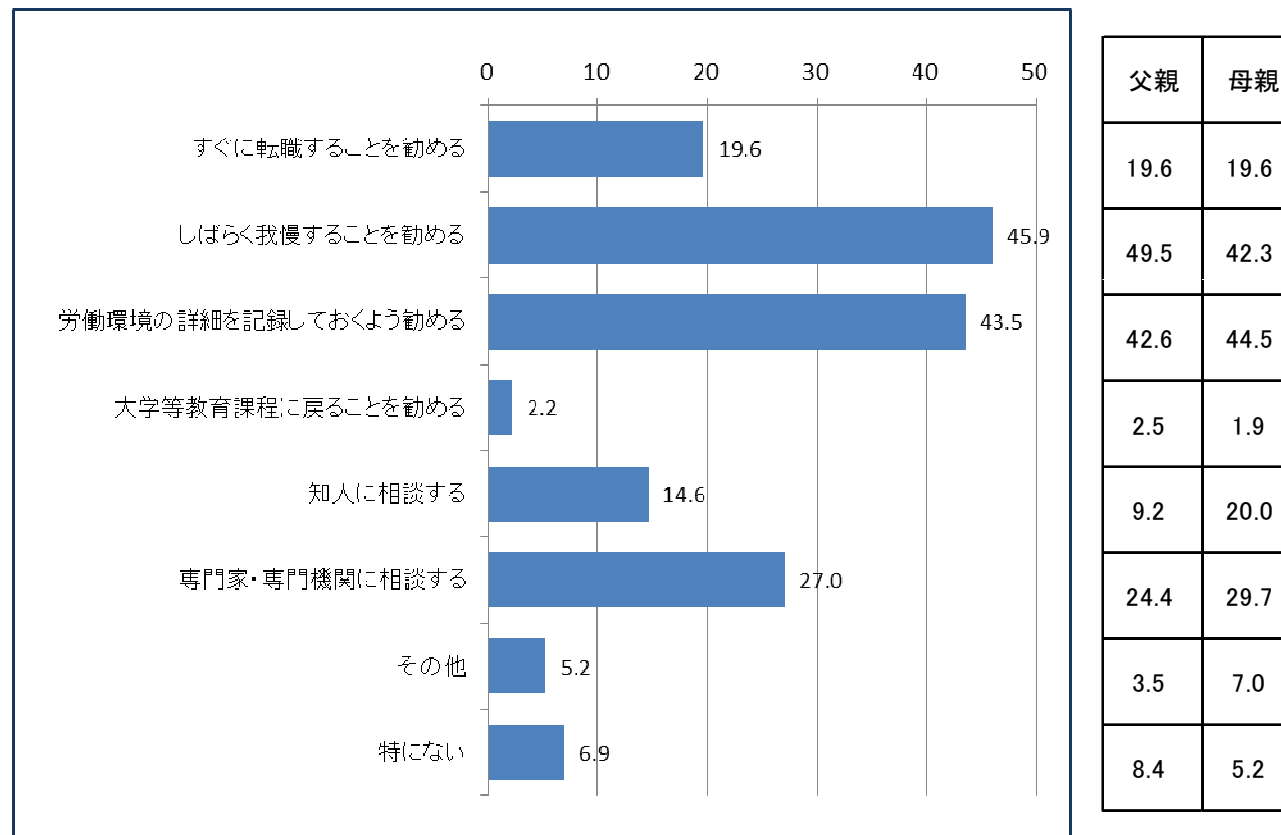
父親	母親	息子	娘	私立文系	国公立文系	私立理系	国公立理系	私立文理融合系	国公立文理融合系
34.5	33.6	37.2	30.1	18.2	42.7	44.6	68.9	21.3	51.4
9.2	11.7	10.8	10.0	12.1	9.1	10.3	3.7	12.4	13.5
11.1	12.2	14.4	8.2	12.6	17.3	7.4	11.9	10.1	10.8
34.5	31.8	33.0	33.4	37.5	35.5	32.8	17.0	32.6	35.1
23.4	25.8	19.7	31.0	29.1	20.9	22.1	7.4	37.1	27.0
2.3	5.2	3.3	4.4	4.1	6.4	3.9	0.7	2.2	5.4
14.6	12.0	13.2	13.5	17.4	6.4	9.3	10.4	15.7	10.8

Q32 もし、あなたのお子様が、最初の就職活動期間に就職先を決められなかった場合、どのような進路を期待しますか。（すでに就職活動を終わらせている方は仮定の話としてお答えください。）（いくつでも）

2) 就職先の労働条件が悪かった場合、親としての対応(推奨内容)

- せっかく就職したのに子供の就職先の労働条件が悪いと感じたとき、親としての対応を聞いた。
- 全体では「しばらく我慢することを勧める」45.9%と「労働環境の詳細を記録しておくよう勧める」43.5%が親の2大対応策である。次いで「専門家・専門機関に相談」「転職の勧め」「知人に相談」の順で続く。
- 「我慢」することを勧めるのは母親よりも父親が多く、「専門家・専門機関に相談」するのは母親が多い傾向にある。

図.就職先の労働条件が悪かった時の対応(n=1036/%)

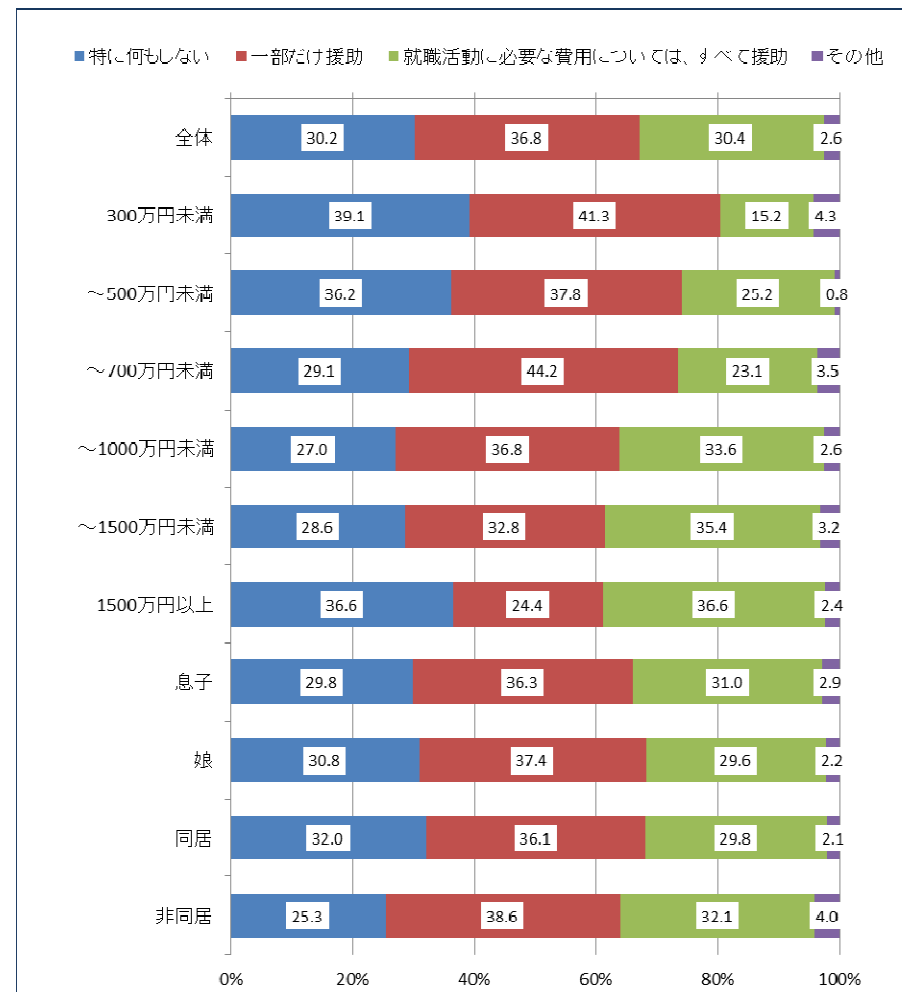


Q.33 もし、あなたのお子様が就職された会社の労働条件が悪い(ex労働時間が長い、休日・休暇がない、昇給がない、賞与がない等)と感じた場合、あなたはどのように対応されますか。(いくつでも)

1) 就職活動に対する資金援助の有無

- 就職活動への資金援助は、「一部援助する親」がやや多く、「全て援助する親」「援助しない親」の2タイプが拮抗している。
- 世帯年収が多いほど、費用をすべて援助する比率が高くなる傾向にある。
- 息子/娘ではほぼ差はみられないが、親との同居/非同居別に見ると、非同居の方がやや資金援助率が高い。

図. 就職活動への資金援助 (n=1036 / %)

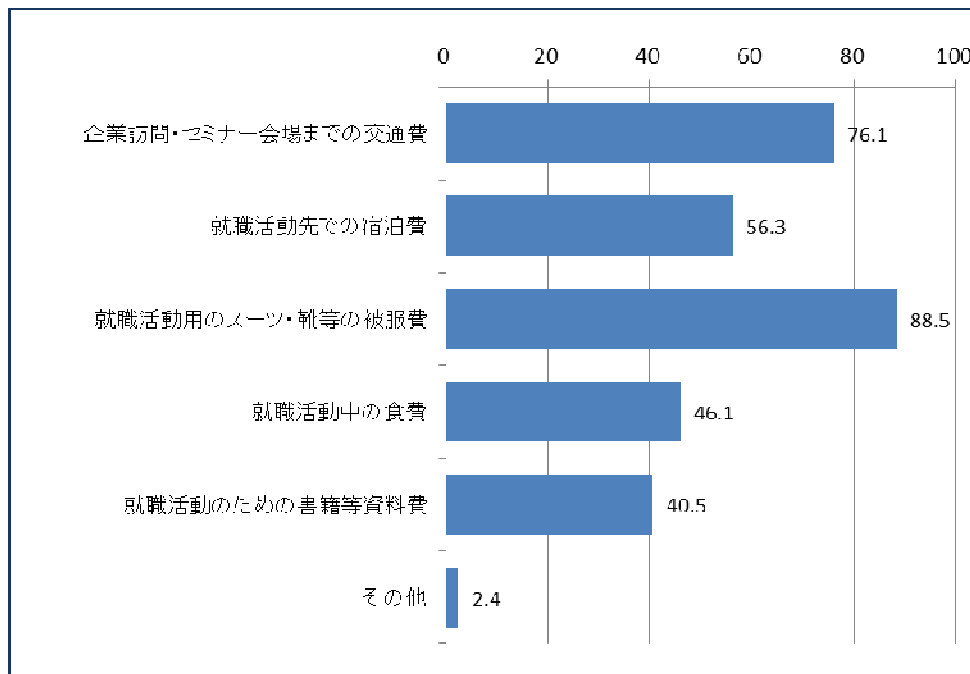


Q34 お宅様では、お子様の就職活動に対して、費用を援助しますか（しましたか）。（いくつでも）

2) 就職活動資金援助の内容

- 親が援助する(した)就職活動資金の使い道は「就職活動用のスーツ・靴等の被服費」(いわゆるリクルートルック経費)が88.5%群を抜いて高い。次いで「交通費」76.1%、「宿泊費」56.3%と続く。
- 就職活動経験社会人の実績では、現役学生に比べ「交通費」比率が高くなっている。実際の就活結果として訪問会社数が多かったことが理由として考えられる。

図. 資金援助の内容(n=723/%)



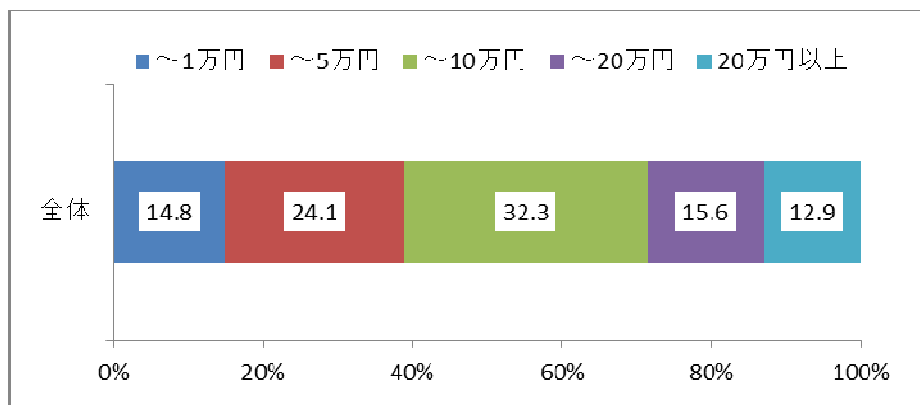
大学1年生	大学2年生	大学3年生	大学4年生	社会人
72.6	75.5	72.9	72.9	83.3
67.9	63.8	68.5	43.8	44.4
91.5	86.2	89.0	87.5	88.4
41.5	45.7	51.4	43.8	45.5
35.8	35.1	53.6	31.9	39.9
2.8	3.2	1.7	1.4	3.0

Q35 お宅様が就職活動費用として援助してもよい(援助した)内容をお知らせください。(いくつでも)。

3) 合計資金援助額

- 資金援助している(していた)親723人を対象に具体的に援助額を聞いた。
- 資金援助額の平均値は13.6万円であるが、世帯年収の多寡による平均値の差はほとんど見られない。
- 学年が上がるごとに平均値も上がる傾向がみられ、また、娘よりも息子に対しての資金援助額が多い。
- 就職活動経験社会人の資金援助額実績平均をみると16.8万円であった。

図. 合計資金援助額 (n=723/%)



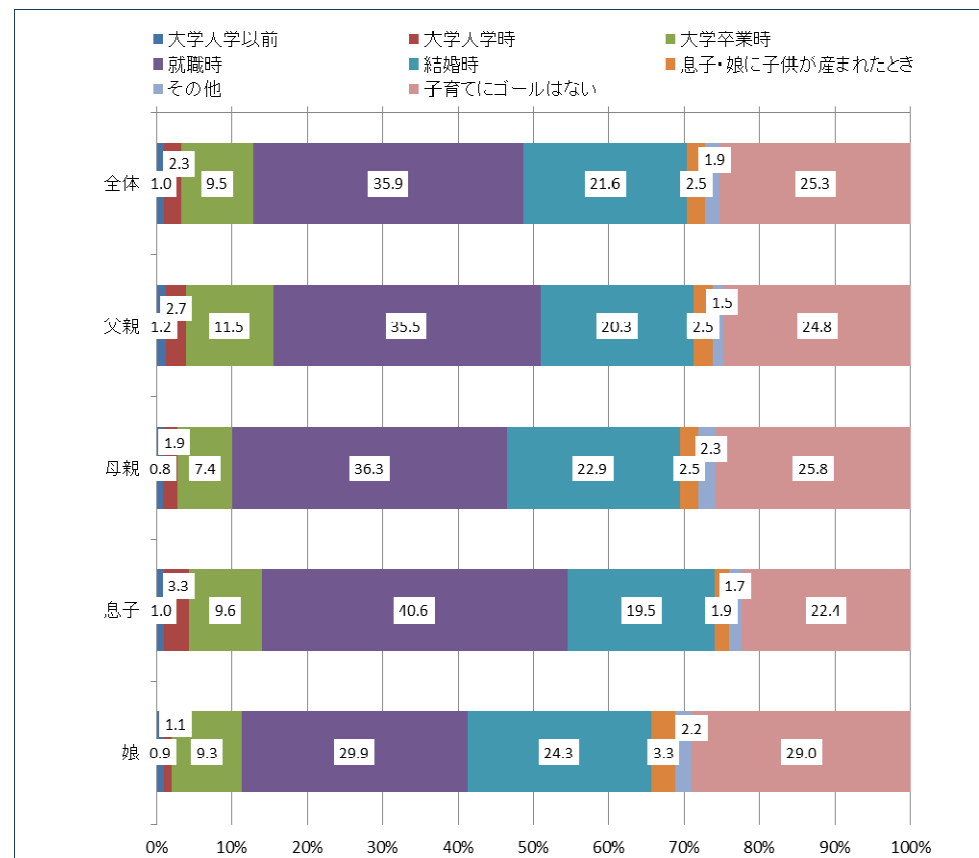
Q36 具体的にお子昌に就職活動費用として援助したおよその合計金額をお知らせください。

表. 属性別、資金援助額・平均値
(n=723)

属性	平均値 (万円)
全体	13.6
父親	16.9
母親	10.7
年収300～500万円未満	13.1
500～700万円未満	11.7
700～1000万円未満	12.1
1000～1500万円未満	13.9
大学1年生	12.2
大学2年生	10.1
大学3年生	12.5
大学4年生	14.0
社会人	16.8
息子	14.6
娘	12.3

- 回答者が思う「子育てのゴール」時期を聞いた。
- 全体では、「就職時」35.9%、「結婚時」21.6%が2大ゴール時期で、特に「子供の就職」は親にとって大きなエポックと言えそうである。
- 「就職時」と回答したのは息子の親が最も高く、「結婚時」と回答するのは娘の親で高い。
- 一方、「子育てにゴールはない」と思う親は25.3%と実に4人に1人の割合であった。また、娘の親にとって「子育てゴールはない」とする比率は息子に比べてはるかに高い。

図. 子育てのゴール時期 (n=1036/%)



Q37 最後に、あなたは「子育てのゴール」はいつだと思いますか。今回対象となったお子様についてお考えください。(1つだけ)。

参考: 調査票

『就職活動に対する大学生保護者の意識に関する調査』																
Q	アイテム名	質問文	選択肢	属性 チェック	質問 タイプ	ベース										
Q0	子供の有無	あなたのお子様は、現在、以下のどれにあてはまりますか。あてはまるものすべてお選びください。	<table border="1"><tr><td>1 四年制大学の1年生</td><td rowspan="6">MA</td></tr><tr><td>2 四年制大学の2年生</td></tr><tr><td>3 四年制大学の3年生</td></tr><tr><td>4 四年制大学の4年生</td></tr><tr><td>5 四年制大学を卒業して3年以内の社会人</td></tr><tr><td>6 上記にあてはまる子供はいない</td></tr></table>	1 四年制大学の1年生	MA	2 四年制大学の2年生	3 四年制大学の3年生	4 四年制大学の4年生	5 四年制大学を卒業して3年以内の社会人	6 上記にあてはまる子供はいない						
1 四年制大学の1年生	MA															
2 四年制大学の2年生																
3 四年制大学の3年生																
4 四年制大学の4年生																
5 四年制大学を卒業して3年以内の社会人																
6 上記にあてはまる子供はいない																
「本調査は、一般財団法人 雇用開発センターが、お子様をお持ちのご両親に向けて、お子様の就職活動に対する意識等をお伺いし、今後の財団の情報支援事業の参考とすることを目的として行っているもので、イプソス株式会社はこの調査を委託しております。 この調査・研究事業に多くの皆様のお考えを反映いたしたく、当アンケートへのご協力をお願いする次第です。 1 お答えいただいたデータは一般財団法人 雇用開発センターに提供いたします。 2 データは研究目的のみに使用され、その他の目的には一切使用されません。 3 データ分析の際には回答以外の情報（氏名・住所等）は提供されません。 4 情報は全て統計処理された上で研究目的のもとに公表されるので、回答そのものが公表されることはありません。 5 また、弊社と一般財団法人 雇用開発センターとの契約により、他の第三者に皆様の回答内容を提供することは一切ございません。 ご多忙中恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。」 一般財団法人 雇用開発センター http://www.earc.or.jp/ イプソス株式会社 http://www.ipsos.jp/																
※ここからは、保護者の方、ご自身についてお伺いします。																
Q1	性別	あなたの性別をお知らせください。	<table border="1"><tr><td>1 男性</td><td rowspan="2">SA</td><td rowspan="2">全員</td></tr><tr><td>2 女性</td></tr></table>	1 男性	SA	全員	2 女性									
1 男性	SA	全員														
2 女性																
Q2	年齢	あなたの年齢をお知らせください。	() 歳	FA	全員											
Q3	職業	あなたのご職業をお知らせください。	<table border="1"><tr><td>1 一般会社員（正社員）</td><td rowspan="8">SA</td><td rowspan="8">全員</td></tr><tr><td>2 会社役員・経営者</td></tr><tr><td>3 公務員・教職員・団体職員</td></tr><tr><td>4 自営業・自由業</td></tr><tr><td>5 派遣・契約社員</td></tr><tr><td>6 パート・アルバイト</td></tr><tr><td>7 その他()</td></tr><tr><td>8 専業主婦・無職</td></tr></table>	1 一般会社員（正社員）	SA	全員	2 会社役員・経営者	3 公務員・教職員・団体職員	4 自営業・自由業	5 派遣・契約社員	6 パート・アルバイト	7 その他()	8 専業主婦・無職			
1 一般会社員（正社員）	SA	全員														
2 会社役員・経営者																
3 公務員・教職員・団体職員																
4 自営業・自由業																
5 派遣・契約社員																
6 パート・アルバイト																
7 その他()																
8 専業主婦・無職																

Q4	業種	あなたのお勤め先の業種をお知らせください。	<table border="1"><tr><td>1 農林漁業</td><td rowspan="18">SA</td><td rowspan="18">Q3=1～7</td></tr><tr><td>2 建設業</td></tr><tr><td>3 製造業</td></tr><tr><td>4 電力/ガス/水道</td></tr><tr><td>5 放送/出版/情報通信業</td></tr><tr><td>6 運輸業</td></tr><tr><td>7 流通/小売業</td></tr><tr><td>8 金融/保険業</td></tr><tr><td>9 不動産業</td></tr><tr><td>10 飲食/宿泊業</td></tr><tr><td>11 医療/福祉</td></tr><tr><td>12 学校/教育/学習支援</td></tr><tr><td>13 専門サービス業</td></tr><tr><td>14 生活関連サービス業</td></tr><tr><td>15 娯楽業</td></tr><tr><td>16 その他サービス業</td></tr><tr><td>17 官公庁/地方自治体</td></tr><tr><td>18 その他()</td></tr></table>	1 農林漁業	SA	Q3=1～7	2 建設業	3 製造業	4 電力/ガス/水道	5 放送/出版/情報通信業	6 運輸業	7 流通/小売業	8 金融/保険業	9 不動産業	10 飲食/宿泊業	11 医療/福祉	12 学校/教育/学習支援	13 専門サービス業	14 生活関連サービス業	15 娯楽業	16 その他サービス業	17 官公庁/地方自治体	18 その他()			
1 農林漁業	SA	Q3=1～7																								
2 建設業																										
3 製造業																										
4 電力/ガス/水道																										
5 放送/出版/情報通信業																										
6 運輸業																										
7 流通/小売業																										
8 金融/保険業																										
9 不動産業																										
10 飲食/宿泊業																										
11 医療/福祉																										
12 学校/教育/学習支援																										
13 専門サービス業																										
14 生活関連サービス業																										
15 娯楽業																										
16 その他サービス業																										
17 官公庁/地方自治体																										
18 その他()																										
Q5	年収	お宅様の世帯年収をお知らせください。	<table border="1"><tr><td>1 300万円未満</td><td rowspan="6">SA</td><td rowspan="6">全員</td></tr><tr><td>2 300～500万円未満</td></tr><tr><td>3 500～700万円未満</td></tr><tr><td>4 700～1000万円未満</td></tr><tr><td>5 1000～1500万円未満</td></tr><tr><td>6 1500万円以上</td></tr><tr><td>7 答えられない</td><td></td><td></td></tr></table>	1 300万円未満	SA	全員	2 300～500万円未満	3 500～700万円未満	4 700～1000万円未満	5 1000～1500万円未満	6 1500万円以上	7 答えられない														
1 300万円未満	SA	全員																								
2 300～500万円未満																										
3 500～700万円未満																										
4 700～1000万円未満																										
5 1000～1500万円未満																										
6 1500万円以上																										
7 答えられない																										
Q6	最終学歴	あなたの最終学歴をお知らせください。	<table border="1"><tr><td>1 中学・高校</td><td rowspan="3">SA</td><td rowspan="3">全員</td></tr><tr><td>2 短大・高専</td></tr><tr><td>3 4年制大学</td></tr><tr><td>4 大学院</td><td></td><td></td></tr></table>	1 中学・高校	SA	全員	2 短大・高専	3 4年制大学	4 大学院																	
1 中学・高校	SA	全員																								
2 短大・高専																										
3 4年制大学																										
4 大学院																										
Q7	同居家族構成	あなたと同居されている方をすべてお知らせください。	<table border="1"><tr><td>1 配偶者(夫・妻)・パートナー</td><td rowspan="7">MA</td><td rowspan="7">全員</td></tr><tr><td>2 配偶者以外の社会人(子供含む)</td></tr><tr><td>3 大学・短大・専門学校・大学院等に就学中の子供</td></tr><tr><td>4 高校・高専等に就学中の子供</td></tr><tr><td>5 未就学～中学生までの子供</td></tr><tr><td>6 自分の両親</td></tr><tr><td>7 その他()</td></tr></table>	1 配偶者(夫・妻)・パートナー	MA	全員	2 配偶者以外の社会人(子供含む)	3 大学・短大・専門学校・大学院等に就学中の子供	4 高校・高専等に就学中の子供	5 未就学～中学生までの子供	6 自分の両親	7 その他()														
1 配偶者(夫・妻)・パートナー	MA	全員																								
2 配偶者以外の社会人(子供含む)																										
3 大学・短大・専門学校・大学院等に就学中の子供																										
4 高校・高専等に就学中の子供																										
5 未就学～中学生までの子供																										
6 自分の両親																										
7 その他()																										
Q8	同居人数	あなたは現在あなたを含めて何人の方と同居されていますか。	() 人	FA	全員																					
Q9	居住地	あなたのお住まいの都道府県をお知らせください。	47 【47都道府県(ブルダウン形式)】	SA	全員																					

※ここからは、お子様についてお伺いします。				
Q10-1	対象の子供有無	あなたのお子様の中で、以下にあてはまるお子様はいらっしゃいますか。 あてはまるお子様が2人以上いらっしゃる場合は、年長のお子様についてお知らせください。(1つだけ)	1 四年制大学に通っていて、これから就職活動をする 2 四年制大学に通っていて、現在就職活動中である 3 四年制大学を卒業して、3年以内に就職をした 4 上記にあてはまる子供はいない 対象外	SA 全員
Q10-2	対象の子供の学年	ではそのお子様の学年などをお知らせください。(1つだけ)	1 四年制大学の1年生 2 四年制大学の2年生 3 四年制大学の3年生 4 四年制大学の4年生 5 四年制大学を卒業して3年以内の社会人	SA 全員
※ここからは、あてはまったお子様の就職活動についてお伺いします。 すでにお子様の就職活動が終わられている方は振り返ってお答え下さい。				
Q11	学校種別・専攻	お子様の学校種別・専攻についてお知らせください。(1つだけ)	1 私立文系 2 国公立文系 3 私立理系 4 国公立理系 5 私立文理融合系(総合科学・生活科学・教育学・芸術学・情報工学 等) 6 国公立文理融合系(総合科学・生活科学・教育学・芸術学・情報工学 等)	SA 全員
Q12	学校所在地	お子様の直近の学校所在地をお知らせください。	47 【47都道府県(ブルダウン形式)】	SA 全員
Q13	同居の有無	そのお子様は、同居していますか。 すでに就職されたお子様については、学生時代は同居していましたか。(1つだけ)	1 同居している(していた) 2 同居していない(していなかった)	SA 全員
Q14	就職活動状況	現在のお子様の就職活動状況についてお知らせください。(1つだけ)	1 すでに就職している 2 内定を取って、就職先が決まり就職活動を終えている 3 内定を取っているが、就職先の選択が出来ておらずまだ活動中である 4 内定がなく活動中である 5 まだ具体的な活動に入っていない 6 就職の意思がない 7 子供の就職活動状況がわからないが、就職活動中だと思う 8 その他()	SA 全員
※ここからは、あなたご自身のお考えでご回答ください。(配偶者の方のご意見を加味しないでください)				
Q15	学校選択理由	お子様が大学を選ぶ際、どんな大学に入学してほしいとお考えでしたか。(いくつでも)	1 卒業後の進路に有利な学校・学部を選択してほしかった 2 卒業後の進路に関係なく興味のある勉強ができる学校・学部を選択してほしかった 3 無理なく入学できる学校・学部を選んでほしかった 4 学校の教師の勤めに従ってほしかった 5 予備校・塾等の講師の勤めに従ってほしかった 6 その他() 7 特に考えていなかった 排他	MA 全員

Q16	高校時の就職活動意識	お子様が高校生の時、お子様の就職についてどのようにお考えでしたか。 次の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。(1つだけ)	1 まだ先のことだと思い、特に意識しなかった 2 高校卒業後すぐ働けるように準備しておいてほしいと思った 3 就職に有利な大学を選んでほしいと思った 4 漠然とでも希望職を決めてほしいと思った 5 取りあえず良い大学に行って、卒業後の選択肢を広げてほしいと思った 6 その他()	SA 全員
Q17	就職活動への関心度	あなたは、お子様の就職活動に対してどの程度関心がありますか(ありましたか)。(1つだけ)	1 非常に関心がある 2 やや関心がある 3 どちらともいえない 4 あまり関心がない 5 関心がない	SA 全員
Q18	子供からの相談有無	就職活動について、お子様から相談がありましたか。(1つだけ)	1 相談があった 2 相談はない Q20	SA 全員
Q19	子供からの相談内容	就職活動について、お子様からはどのような内容の相談がありましたか。(いくつでも)	1 就職活動先の選択について 2 就職活動の進め方について 3 就職活動における大学側の対応について 4 内定後の就職先企業の決定について 5 就職先決定後の不安について 6 親(あなた自身)の関わり方について 7 その他()	MA 全員
Q20	子供へのアドバイス	あなたは、就職活動中のお子様に関心を持って何かアドバイスをしましたか(しましたか)。(1つだけ)	1 積極的にアドバイスする 2 アドバイスではないが、励ましの言葉をかける 3 言葉がけはせず、見守るだけにする 4 その他() 5 特に何もしない	SA 全員
Q21	人脈の活用状況	あなたはお子様の就職活動にあたって、自分の個人的な人脈を活用しますか。(しましたか)。(いくつでも)	1 知人から企業情報・業界情報を聞く 2 取引先等自分がコネクションを持っている企業に、子供の就職を働きかける 3 自分の会社・又は関連会社に、子供の就職を働きかける 4 その他() 5 人脈は活用しない 排他	MA 全員

Q22	情報の入手先	あなた自身は何を通して就職活動に関する情報収集をしましたか(しましたか)。(いくつでも)	1 大学の就職課に聞いた・大学主催の親向けセミナーなどに参加 2 企業主催の親向けセミナーに参加 3 企業に対して、直接質問 4 企業主催の親向けセミナーに参加 5 就職情報誌・専門誌など書籍を購入 6 インターネットで調べる 7 知人・友人・親から聞く 8 TV・新聞等に掲載している情報を注視する 9 子供から直接聞く 10 その他() 11 特にない 排他	MA	全員
Q23	知りたい就職活動内容	お子様の就職活動について、活動前、活動中に具体的に知りたいと思う(思った)ことは何ですか。(いくつでも)	1 就職活動全体の流れ 2 就職活動対象企業の企業情報 3 就職活動対象業界の業界情報 4 就職活動にかかるおおよその費用 5 大学側の就職支援状況 6 子供の就職活動に対して親ができること・した方がよいこと 7 その他() 8 特にない 排他	MA	全員
Q24	参加してほしい就職活動	以下の中で、就職活動にあたって、お子様が参加したほうが良い(良かった)と思われるものはありますか。(いくつでも)	1 企業説明会(複数企業集合型) 2 企業説明会(単独企業型) 3 大学就職課の就職セミナー 4 企業インターンシップ 5 就職予備校 6 就活セミナー 7 その他() 8 特にない 排他	MA	全員
Q25	保護者が参加したい就職活動	以下の中で、お子様の就職活動にあたって、あなたが参加したい(したかった)と思われるものはありますか。(いくつでも)	1 大学就職課の保護者向け就職説明会 2 子供の就職希望企業の保護者向け説明会 3 就職情報会社等の保護者向け就職セミナー 4 その他() 5 特にない 排他	MA	全員
Q26	今の就職環境の印象	あなたが、マスコミなどから得ている情報から、今の就職環境に関して、どのような印象をお持ちですか。(1つだけ)	1 非常に良いと思っている 2 やや良いと思っている 3 どちらともいえない 4 やや厳しいと思っている 5 非常に厳しいと思っている	SA	全員
Q27	就職活動についての子供との対立	あなたは、就職について何かお子様と対立したことがありますか。(いくつでも)	1 就職先の選択で対立した Q28 2 就職活動のやり方で対立した Q28 3 就職活動中の生活態度について対立した Q28 4 その他() Q28 5 特にない 排他・Q29	MA	全員

Q28	対立のきっかけとなった言葉	あなたがお子様と対立した際、きっかけになった「言葉」で、思い当たるものがあれば教えてください。	(自由回答)	FA	Q27-1~4
Q29	就職先に期待すること	あなたがお子様の就職先に期待すること(期待したこと)は何ですか。(いくつでも)	1 給与・年収が妥当 2 経営が安定している 3 大企業・有名企業である 4 福利厚生制度が充実している 5 勤め先の場所(立地)が良い 6 子供が希望する仕事ができる 7 景気・社会情勢に左右されにくい 8 研修等人材育成に力を入れている 9 その他() 10 特にない 排他	MA	全員
Q30	勤めたい業界(MA)	あなたがお子様に、就職先として勤めたいと思う業界をお知らせください。(いくつでも)	1 農林漁業 2 建設業 3 製造業 4 電力/ガス/水道 5 放送/出版/情報通信業 6 運輸業 7 流通/小売業 8 金融/保険業 9 不動産業 10 飲食/宿泊業 11 医療/福祉 12 学校/教育/学習支援 13 専門サービス業 14 生活関連サービス業 15 娯楽業 16 その他サービス業 17 官公庁/地方自治体 18 その他() 19 特にない Q31・排他	MA	全員
Q30-1	勤めたい業界(SA)	その中で最も勤めたい業界はどこですか。(1つだけ)	Q30で選択したものだけを表示 (Q30がSA回答の場合はスキップ)	SA	Q30-1~15
Q30-2	勤める理由	その業界を勤める理由を簡単に聞かしてください。	(自由回答)	FA	Q30-1~15

Q31	勤めたくない業界 (MA)	あなたがお子様に、就職先として勤めたくないと思う業界をお知らせください。(いくつでも)	1 農林漁業 2 建設業 3 製造業 4 電力/ガス/水道 5 放送/出版/情報通信業 6 運輸業 7 流通/小売業 8 金融/保険業 9 不動産業 10 飲食/宿泊業 11 医療/福祉 12 学校/教育/学習支援 13 専門サービス業 14 生活関連サービス業 15 娯楽業 16 その他サービス業 17 官公庁/地方自治体 18 その他() 19 特にない Q32・排他	MA	全員
Q31-1	勤めたい業界 (SA)	その中で最も勤めたくない業界はどこですか。(1つだけ)	Q31で選択したものだけを表示 (Q31がSA回答の場合はスキップ)	SA	Q31=1～15
Q31-2	勤める理由	その業界を勤められない理由を簡単に教えてください。	(自由回答)	FA	Q31=1～15
Q32	就職先が決められなかった場合の希望進路	もし、あなたのお子様が最初の就職活動期間内に就職先を決められなかった場合、どのような進路を期待しますか。 (すでに就職活動を終わられている方は仮定の話としてお答えください。)(いくつでも)	1 研究室・大学院等上の学習課程に進む 2 専門学校等別の学習課程に進学する 3 現在の大学を留年して、次年に就職活動を再開する 4 大学は卒業して次年の就職活動に専念する 5 アルバイト・派遣等の雇用形態で仕事に就く 6 その他() 7 特にない 排他	MA	全員
Q33	就職先の労働条件が悪い場合の対応	もし、あなたのお子様が就職された会社の労働条件が悪い (ex 労働時間が長い、休日・休暇がない、昇給が無い、賞与が無い等)と感じた場合、あなたはどのように対応されますか。(いくつでも)	1 すぐに転職することを勧める 2 しばらく我慢することを勧める 3 労働環境の詳細を記録しておくよう勧める 4 大学等教育課程に戻ることを勧める 5 知人に相談する 6 専門家・専門機関に相談する 7 その他() 8 特にない 排他	MA	全員

※ここからは、お宅様の世帯としてお答えください。					
Q34	就職活動への援助	お宅様では、お子様の就職活動に対して、費用を援助しますか(しましたか)。(1つだけ)	1 特に何もしない Q37 2 一部だけ援助 Q35 3 就職活動に必要な費用については、すべて援助 Q35 4 その他() Q35	SA	全員
Q35	就職活動への援助内容	お宅様が就職活動費用として援助しても良い(援助した)内容をお知らせください。(いくつでも)	1 企業訪問・セミナー会場までの交通費 2 就職活動先での宿泊費 3 就職活動用のスーツ・靴等の被服費 4 就職活動中の食費 5 就職活動のための書籍等資料費 6 その他()	MA	Q34=2～4
Q36	就職活動への援助費用	具体的にお子様に就職活動費用として援助したおおよその合計金額をお知らせください。	()万円	FA	Q34=2～4
Q37	子育てのゴール	最後に、あなたは「子育てのゴール」はいつだと思えますか。今回対象となったお子様についてお考えください。	1 大学入学以前 2 大学入学時 3 大学卒業時 4 就職時 5 結婚時 6 息子・娘に子供が産まれたとき 7 その他() 8 子育てにゴールはない	SA	全員
Q38	子供の性別	今回対象となったお子様の性別をお知らせください。(1つだけ)	1 男子 2 女子	SA	全員